

福島 12 市町村観光資源マップ

(令和 4 年 9 月版)

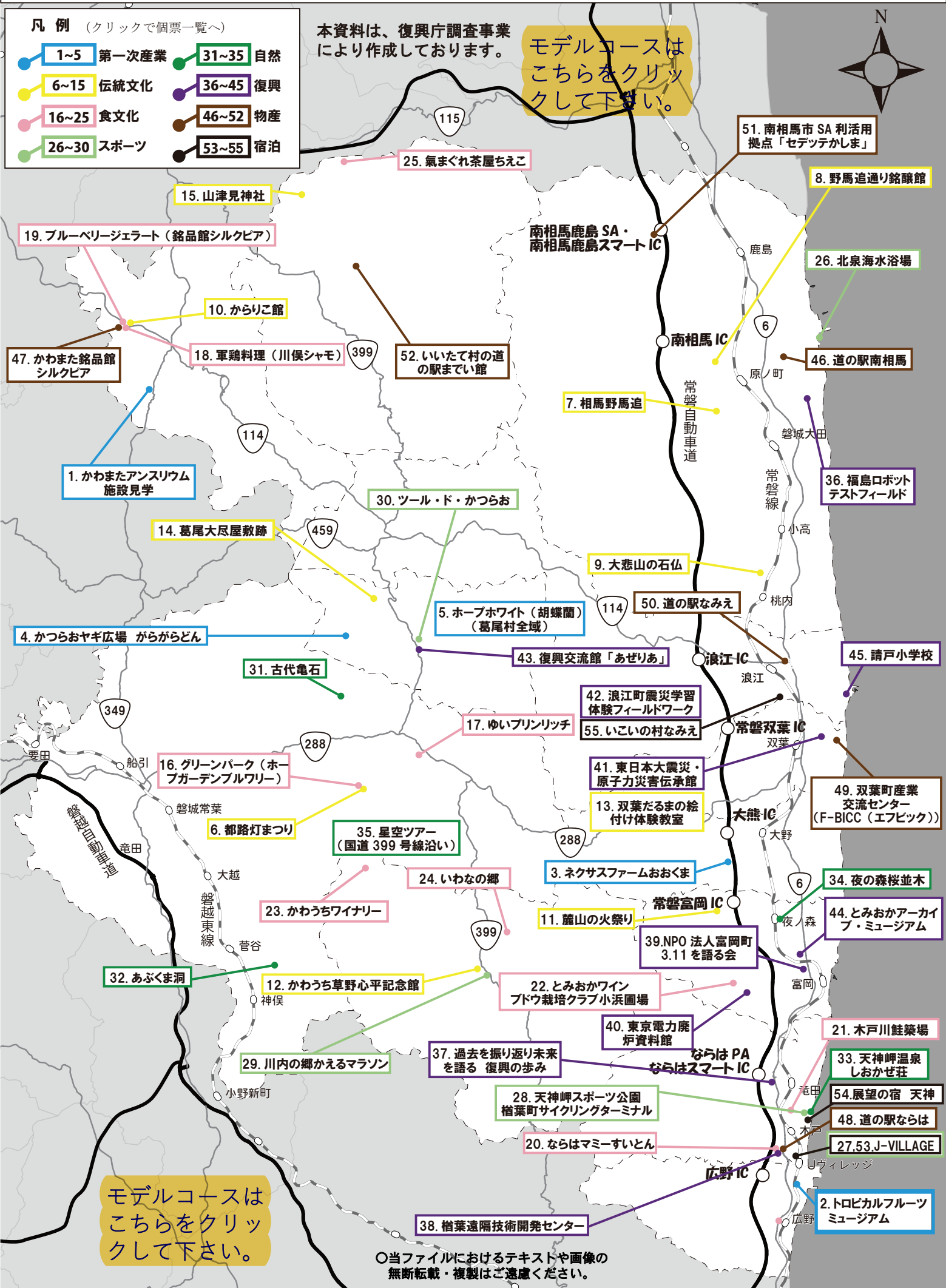
※ アイコン (J-VILLAGEは番号) クリックで、該当ページに飛びます。

凡例 (クリックで個票一覧へ)

- 1~5 第一次産業
- 6~15 伝統文化
- 16~25 食文化
- 26~30 スポーツ
- 31~35 自然
- 36~45 復興
- 46~52 物産
- 53~55 宿泊

本資料は、復興庁調査事業により作成しております。

モデルコースはこちらをクリックして下さい。



モデルコースはこちらをクリックして下さい。

○当ファイルにおけるテキストや画像の無断転載・複製はご遠慮ください。

観光資源 個票一覧およびモデルコースについて

(※ 各アイコンの先頭の No. が、そのまま目次となります。)

グループアイコンをクリックすると、次ページ以降の観光資源一覧に飛びます。

アイコンクリックで該当個票ページに飛びます。↓

1~5 第一次産業

1	かわまたアンスリウム施設見学	川俣町
2	トロピカルフルーツミュージアム	広野町
3	ネクサスファームおおくま	大熊町
4	かつらおやぎ広場 がらがらどん	葛尾村
5	ホープホワイト (胡蝶蘭)	葛尾村

31~35 自然

31	古代亀石	田村市
32	あぶくま洞・入水鍾乳洞	田村市
33	天神岬温泉しおかぜ荘	檜葉町
34	夜の森の桜並木	富岡町
35	星空ツアーと郷土料理	飯館村

6~15 伝統文化

6	都路灯まつり	田村市
7	相馬野馬追	南相馬市・相馬市
8	野馬追通り銘醸館	南相馬市
9	大悲山の石仏	南相馬市
10	からりこ館	川俣町
11	麓山の火祭り	富岡町
12	かわうち草野心平記念館	川内村
13	双葉だるまの絵付け体験教室	双葉町・いわき市
14	葛尾大尽屋敷跡	葛尾村
15	山津見神社	飯館村

36~45 復興

36	福島ロボットテストフィールド	南相馬市
37	過去を振り返り 未来を語る 復興の歩み	檜葉町
38	檜葉遠隔技術開発センター	檜葉町
39	NPO法人 富岡町3.11を語る会	富岡町
40	東京電力廃炉資料館	富岡町
41	東日本大震災・原子力災害伝承館	双葉町
42	浪江町震災学習体験フィールドワーク	浪江町
43	葛尾村復興交流館あぜりあ	葛尾村
44	とみおかアーカイブ・ミュージアム	富岡町
45	震災遺構 請戸小学校	浪江町

16~25 食文化

16	グリーンパーク都路 (ホップガーデンブルワリー)	田村市
17	ゆいプリンリッチ	田村市
18	川俣シャモ料理	川俣町
19	ブルーベリージェラート	川俣町
20	ならはマミーすいとん	檜葉町
21	木戸川鮭築場	檜葉町
22	とみおかワインブドウ栽培クラブ小浜圃場	富岡町
23	かわうちワイナリー	川内村
24	いわなの郷『厳選稀少素材・いわな料理&いわな釣り体験』	川内村
25	「気まぐれ茶屋ちえこ」と「どぶろく」	飯館村

46~52 物産

46	道の駅南相馬	南相馬市
47	かわまた銘品館シルクピア	川俣町
48	道の駅ならは	檜葉町
49	双葉町産業交流センター【F-BICC (エフビック)】	双葉町
50	道の駅なみえ	浪江町
51	セデッテかしま	南相馬市
52	いいたて村の道の駅までい館	飯館村

53~55 宿泊

53	J-VILLAGE	檜葉町・広野町
54	展望の宿 天神 (てんじん)	檜葉町
55	福島いこいの村なみえ	浪江町

26~30 スポーツ

26	北泉海水浴場	南相馬市
27	J-VILLAGE	檜葉町・広野町
28	天神岬スポーツ公園 檜葉町サイクリングターミナル	檜葉町
29	川内の郷かえるマラソン	川内村
30	ツール・ド・かつらお	葛尾村

6つのテーマ別とした「観光モデルコース」(P.56~)は、このアイコンをクリックすると56ページに飛びます。

営業時間やイベントの開催の最新情報につきましては、個票記載のホームページでご確認、又はお問い合わせ先にお問い合わせください。

福島12市町村における魅力ある観光資源や訪問先の一覧表

この列の各枠囲みをクリックすると、
該当個票ページに飛びます。↓

営業時間やイベントの開催の最新情報につきましては、個票記載のホームページでご確認、又はお問い合わせ先にお問い合わせください。

テーマ	No.	観光資源	概要	自治体名	事業主体又は問合せ先
第一次産業	1	かわまた銘品館 シルクピアンス リウム施設見学	アンズリウムは、かわいらしいハート型でエナメルのようにつややかな質感の鮮やかな葉が特徴で、赤、白、ピンク、緑、紫など、色の種類も豊富で、花持ちが良く、切り花や鉢植えとしても非常に人気である。 震災からの早期復興を支援するため、近畿大学による「オール近大」川俣町復興支援プロジェクトの一環として栽培を開始した花で、古着等をリサイクルした土壌汚染と無縁なポリエステル媒地で栽培している。また、組合にて、栽培における説明をしていただける。購入も可能。	川俣町	ポリエステル培地活用 推進組合
	2	トピカルフルー ツミュージアム (広野町産パナ ナ 綺麗)	バナナの主な産地はフィリピンやインドネシア、台湾など温暖な気候の地域である。日本でも栽培されているものの、ごく限られた地域のみで、東北地方・福島では栽培されていなかった。 「綺麗」と名付けられるその品種はコンピューター制御によって管理され、皮まで食べられる。 2018年9月に町と住民の希望となる150株の苗が植えられた。町の夢と希望を託されたバナナの苗はぐんぐんと成長し3メートルを超えるほどになった。そして2019年8月、関係者の苦労と努力が実を結び、初めての収穫を迎えることができた。	広野町	株式会社 広野町振興公社
	3	ネクサスファーム おおくま	太陽光利用型植物工場『夏秋いちご』と『冬春いちご』の周年栽培を行っている。 『ポットスライド型高設養液栽培』により労働負荷の軽減と、人と機械の分業を行い、農作業を楽にする工夫を行っている。『環境制御システム』により、栽培環境、作業環境、経営環境のバランスを考えた効率的な栽培を行っている。復興・生業再生の新たな取組として、2019年一部避難指示解除後、栽培を開始した。	大熊町	株式会社ネクサス ファームおおくま
	4	かつらおヤギ広 場 がらがらどん	現地でしか食べられない山羊ミルクを使用した料理を提供するカフェや山羊やポニーと触れ合える「ふれあい広場」を建設。15年前から手作り化粧石鹸「山羊ミルク石鹸」を販売している。葛尾村民や福島県の協力もあり、2021年5月に観光牧場としてオープンした。(現在のヤギの頭数はおよそ80頭)	葛尾村	株式会社 かつらおファーム
	5	ホープホワイト (胡蝶蘭) (葛尾村全域)	東日本大震災で起きた原発事故以降、避難指示が出されていた葛尾村に、住民の帰村と新規移住による人口増加、新たな産業の創出を目指し、葛尾村に胡蝶蘭栽培と販売を始めた。 復興支援事業として、福島県双葉郡葛尾村で生産している胡蝶蘭『hope white(ホープホワイト)』が、埼玉県「平成30年冬季品評会」において洋蘭の部で銀賞を受賞致した。この受賞は復興大臣賞受賞に続く、2つ目の栄誉となった。	葛尾村	かつらお胡蝶蘭合同会 社
伝統文化	6	都路灯まつり	1万本の竹灯に火を灯す夏の風物詩として、定着した夏のイベントである。ステージでは、郷土芸能や早食い競争、ミュージシャンのライブなどが行われる。祭りのクライマックスは打ち上げ花火で、竹灯とのコラボはまさに絶景である。	田村市	都路灯まつり実行委員 会
	7	相馬野馬追(の まおい)	相馬野馬追は一千有余年の昔、相馬氏の祖といわれている平将門が下総国(千葉県北西部)に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりと伝えられ、現在では、毎年7月末の土曜日・日曜日・月曜日に、甲冑に身を固めた500余騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な戦国絵巻を繰り広げる。(令和4年は、7月23日(土)～25日(月))	南相馬市	相馬野馬追執行委員 会
	8	野馬追通り銘醸 館	一千年以上の伝統を持つ「相馬野馬追」の里で鎧甲冑着付け体験ができる。この地域ならではのおもてなしで戦国時代の気分を味わえる。	南相馬市	一般社団法人 南相馬観光協会
	9	大悲山(だいひさ ん)の石仏	南相馬市小高区泉沢にある「薬師堂石仏」「観音堂石仏」「阿弥陀堂石仏」は「大悲山の石仏」として親しまれている。この石仏群は東北地方で最大、最古の石仏であり、昭和5年に国指定史跡に指定されました。福島県南相馬市小高大悲山磨崖仏、栃木県宇都宮大谷磨崖仏、大分県臼杵磨崖仏を日本三大磨崖仏と称している。	南相馬市	南相馬市教育委員会文 化財課
	10	からりに館	からりに館は、1995年にオープンし、絹織物の歴史、伝統技術の紹介に加え、機織り、染色に関する研修や体験学習のできる施設となっている。織物体験実習室では、昔ながらの手織り体験で川俣の歴史に触れることができる。染め体験実習室では、美しい絹織物に欠かせない染色も体験できる。	川俣町	川俣町おりもの展示館 からりに館
	11	麓山(はやま)の 火祭り	毎年8月15日に行われ、福島県指定重要無形民俗文化財に指定されている。400年続いている神事。神社に火をもって登る祭り。間近で見ると、松明の火は圧巻、また火の粉が降り注ぐ中、ふんどし姿で駆け回っていく担ぎ手の勇姿が見られる。東日本大震災が発生した2011年から2017年までは中断していたが、2018年8月から再開した。	富岡町	富岡町役場産業振興課
	12	かわうち草野心 平記念館	美しいロケーションに溶け込む趣のある木造真壁づくりで茅葺屋根の天山文庫。文化勲章を受章した草野心平が過ごした施設。設立には井上靖、川端康成などの多くの文豪が発起人として関わっている。 併設されている草野心平資料館には、草野心平の日記や詩など資料が展示されている。また毎年7月には天山祭りが開催される。	川内村	川内村教育課生涯学習 係
	13	双葉だるまの絵 付け体験教室	顔の周りの太平洋をイメージした青いふちどりが特徴の双葉だるまである。希望に応じて、絵付け体験教室も開催している。(対応可能か確認中) 江戸時代から伝わる新春の恒例行事である双葉町ダルマ市は、2020年1月には、復興公営住宅宅来酒井団地で開催され、双葉ダルマが販売された。現在、双葉町産業交流センターで販売中(48参照)。	双葉町	JA福島さくら女性部双 葉支部
	14	葛尾大尽屋敷跡	藤原氏の流れを汲み、信州葛尾城主だったと伝えられる松本勘ヶ由介の孫、松本好倉が初代の松本三九郎と目されるが、生糸や製鉄業などで巨大な富を築き、「葛尾大尽」と呼ばれるようになった。 明治4年・明治8年の火災で、豪壮を極めた建物の大半を焼失した。 屋敷跡として石垣や庭園が残っていたが、平成18年の発掘調査により、48棟あったと伝えられる蔵の基礎石や、近江八景庭園跡の全体が発見され、葛尾大尽屋敷跡公園として公開されている。	葛尾村	葛尾村教育委員会
	15	山津見神社	全国的にも珍しいオオカミ信仰の神社である。 200枚を超えるオオカミが描かれた天井画で知られていたが、原発事故による避難をしていた2013年4月に火災が発生し、消失した。しかし、写真をもとに、東京芸術大学の学生たちによって天井画が復元。再建された拝殿に納められている。	飯館村	山津見神社
食文化	16	グリーンパーク (ホップガーデン ブルワリー)	ネパール等を原産とする「赤そば」の栽培を2019年からグリーンパーク都路で開始した。10月中旬から11月上旬にかけて、原風景に群生する赤色が濃い花は一見の価値がある。収穫した赤そばは、スカイパレスとくわで食することができる。 「ホップガーデンブルワリー」は、「グリーンパーク都路」を一部改修し、2020年11月に開設。ホップの収穫からビールを飲むところまで体験できる。ホップをふんだんに使用した高品質なビールを12種類製造しており、2022年3月現在、9種類提供。提供種類は時期により異なるためホームページを確認。	田村市	田村市(赤そば) ホップジャパン(ビール)
	17	ゆいプリンリッチ	みやこビスイーツゆいでは、地場産品である「都路のたまご」を使用し、安全でからだにやさしいお菓子を提供している。クリスマスにはイルミネーションを施したり、イートインスペースでの交流や、学生さんの職場体験の場など、地域のコミュニティの場としても活用されている。 ゆいプリンリッチは、都路たまごをたっぷり使った、とろーりなめらか極上プリン。	田村市	MIYAKOJI sweets yui
	18	川俣シャモ料理	川俣シャモは、阿武隈山地の豊かな自然に恵まれた地で、平飼いでのびのび育てている。 また、定められたマニュアルによって、種鶏管理、孵化、育雛、肥育から出荷まで、川俣町内で徹底した一元管理をしている。 震災後、シャモ農家が品質と安全性の確保のために“屋内運動場”を整備して取り組んでいる。 また、シャモを使って、長さ24mの世界一長い焼き鳥や106羽の丸焼きなど話題性がある。 川俣シャモ料理研究会が、川俣シャモが食べられるお店9選を「川俣シャモグルメガイドマップ」(https://www.town.kawamata.lg.jp/uploaded/attachment/16062.pdf)にて紹介している。	川俣町	川俣シャモ料理研究会

この列の各枠囲みをクリックすると、
該当個票ページに飛びます。↵

福島12市町村における魅力ある観光資源や訪問先の一覧表

営業時間やイベントの開催の最新情報につきましては、個票記載のホームページでご確認、又はお問い合わせ先にお問い合わせください。

テーマ	No.	観光資源	概要	自治体名	事業主体又は問合せ先
食文化	19	ブルーベリージェラート(銘品館シルクピア)	川俣町と町農業振興公社、近畿大学などが、同町山木屋産のブルーベリーを使った新商品「かわまたジェラート ブルーベリーミックス」を開発。道の駅川俣の銘品館シルクピアで数量限定で販売。 商品化に向けて同大学の学生がレシピの考案や試食調査、ブルーベリーの収穫、パッケージデザインを手掛けてきた。ジェラートには9品種のブルーベリーを使用。果肉のほかにジャムも加え、ジェラートの販売・企画を手掛けるテnderボックス(奈良県)が滑らかに仕上げた。1個378円で限定180個。	川俣町	近畿大学農学部
	20	ならはマミーすいとん	家庭料理として地元で昔から親しまれてきたすいとんを、サッカー日本代表監督(当時)トルシエ氏が「故郷のおばあちゃんの味」と評した事から「マミーすいとん」と命名された地元料理。シンプルで素朴ながらも人気のメニューである。震災により「マミーすいとん」を提供していた飲食店が休業したが、道の駅ならはのフードコートと榎葉町サイクリングターミナルレストラン岬や、避難先のいわき市、会津美里町のイベントなどで復活させた。	榎葉町	一般財団法人 榎葉町振興公社
	21	木戸川鮭築場	国内でも有数の鮭捕獲数を誇り、鮭溯上の時期になると多くの観光客が訪れる。近隣では、木戸川漁協が運営する直売所も設置されており、秋の味覚も楽しめる。10月中～11月中旬がシーズン。 避難指示が解除された2015年の秋に人工ふ化を再開。翌年の春に、震災後初めて自分たちでかえした稚魚を放流。その鮭が2015年から4年目の秋、木戸川に初めて帰ってきた。それに合わせて祭りも復活した。	榎葉町	木戸川漁業協同組合
	22	とみおかワイン葡萄栽培クラブ小浜園場	ワインづくりは、2016年4月からスタートした。この地でワインに対する思いは、ゼロからの地域づくりの一環であり、次の時代への贈り物でもある。富岡町内の小浜地区と下千里地区の2か所に、醸造用ブドウの試験ほ場を5aずつ設置し、3月～4月に、各地区200本ずつ、計約400本を垣根仕立てで植え付け。その後、小浜地区では、平成29年春に約200本(10a)、平成30年春に300本(15a)を追加で植付けし、現在、2地区合せて35aに約900本のブドウを栽培している。	富岡町	とみおかワイン葡萄栽培クラブ
	23	かわうちワイナリー	阿武隈高地のほぼ中央、標高約750mと大自然の中に囲まれた広大な草地の一部(現在は約3ヘクタール)の圃場に醸造用のワインぶどう栽培を行っている。川内村を応援するボランティアや地域住民と協力し、メルロー、シャルドネ、それにカベルネ・ソーヴィニヨンの苗木を2016年から植え付け、今では約11,000本に達している。ワイン事業を通じて地域の「新たな食文化の探求」と「魅力創造」を目的に様々なイベントや農業体験・学びの場を提供している。	川内村	かわうちワイン株式会社
	24	いわなの郷『厳選稀少素材・いわな料理&いわな釣り体験』	定食や塩焼きなど四季折々のメニューを提供するレストランや岩魚釣りが実体験できる釣り堀、体験交流館、コテージ(宿泊施設)がある。体験交流館では、川内村に伝わる昔ながらの味噌づくりや、そば打ちなどが体験できる。体験交流館では、そば打ちなどが体験できるほか、芝生やウッドデッキではキャンプも楽しむことができる。テントの貸し出しやBBQセットもあり、手ぶらでキャンプができる。	川内村	いわなの郷
スポーツ	25	「気まぐれ茶屋ちえこ」と「どぶろく」	農家レストラン「気まぐれ茶屋ちえこ」にて生産・販売しているどぶろく。福島県内の「どぶろく特区」第1号に認定されており、辛口ですっきりとした風味で人気がある。 瓶入りの『白狼』、ペットボトルタイプの「どぶちえ」の2種類のパッケージがあり、『白狼』は山津見神社のオオカミになぞらえている。村の道の駅などで販売中。	飯館村	気まぐれ茶屋ちえこ
	26	北泉海水浴場	北泉海岸の海水浴場は、全国でも有数のサーフスポットで、大会も開催されるなどサーフィンの聖地とも呼ばれている。7月には海開きが行われ、海水浴場としても人気のある場所で、カップルや家族でも楽しむことができる。また、近くには公園も整備されており、地元の憩いの場所でもある。 2019年、東日本大震災以降9年ぶりに海水浴場が再開された。	南相馬市	南相馬市
	27	J-VILLAGE	サッカーのナショナルトレーニングセンターである。震災後、原発事故の対応拠点となり、一時休業していたが、2019年4月より施設が全面再開。観客席付スタジアムを含め天然ピッチ8面、人工芝ピッチ2面、雨天練習場、ホテル(総客室数200)、フィットネスジム、アリーナ、プールなどを備えており、サッカー以外の一般観光客の利用も可能である。2021年東京五輪の聖火リレーの出発式の会場となった。	榎葉町・広野町	J-VILLAGE
	28	天神岬スポーツ公園 榎葉町サイクリングターミナル	太平洋を一望できるスポーツ公園。晴天と大海原が成す雄大な景観と四季折々の花々が楽しめる。その他宿泊施設やキャンプ場、オートキャンプ場、レンタサイクルがある。公園内にあるサイクリングターミナルでは、宿泊施設やレストランも完備されており、ゆっくりと休むことができる。また、日帰り温泉も楽しむことができる。アイスショップウィンディランドのジェラートも人気。 震災後は避難指示区域に入っていたが、平成27年に復旧が完了し再開した。	榎葉町	一般財団法人 榎葉町振興公社
	29	川内の郷かえるマラソン	川内村の魅力ランナーの皆さんに感じて、楽しんでいただく機会として「川内の郷 かえるマラソン」を開催する。そして、参加された方の「心のふるさと」として「また訪ねたい」と思ってもらえる大会に村民一丸となって取り組む。種目は、ハーフ・10km・5km・3km・1.5kmなどがある。参加人数は約1,500人。 震災後、地域の小学生の発案で始まった。「川内」にちなみマラソン選手の川内優輝選手をゲストとして招き、開催している。第5回及び第6回は中止となったが、今後も毎年積極的に開催の準備を進めている。開催可否についてはホームページでお知らせ。	川内村	一般社団法人 かわうちラボ
	30	ツール・ド・かつらお	全国でも有数の難易度を誇る葛尾村村内1周メインコース28kmを走る。今回の大きな特徴としては、誰もが村内1周コースを楽しめるように、村内1周ビギナー限定の部を設けた。海外のジュニア・ビギナーレースのように前半16kmはペーサーで固定(追い抜き禁止で速度を保って集団走行)MOTO審判が合図してからリアルスタート。道路使用許可条件(先頭10分タイムアウト必須)をクリアしながら、本州で沖縄や北海道のようなラインレースに近い環境を楽しめる。	葛尾村	ツール・ド・かつらお実行委員会 一般社団法人葛尾むらづくり公社
自然	31	古代亀石	亀の形をした巨石で、高さ10.7m、周囲50.5m、重量2,800t。実際に足を運んで実物を目の前で見た時の迫力ある存在感には驚かされる。「鶴は千年、亀は万年」の言葉にあやかり、無病息災を願ってこの亀石にしめ縄を張り崇拝したと言われている。石の上部には天狗が舞い降りた足跡があるとの言い伝えもある。	田村市	—
	32	あぶくま洞・入水(いりみず)鍾乳洞	悠久の歳月をかけて創られた大自然の造形美。 全長600mの洞内に、種類と数の多さでは東洋一ともいわれる鍾乳石が続くあぶくま洞。 したたり落ちる地下水が自らの溶食作用によって創りあげる様々な造形美にはそれぞれに名前が付けられ、訪れる人を魅了している。洞内最大のホール「滝根御殿」、日本の鍾乳洞で初めて舞台演出用の調光システムが導入された「月の世界」など見どころがいっぱいある。恋人の聖地として認定されている。	田村市	あぶくま洞管理事務所
	33	天神岬温泉しおかぜ荘	天神岬スポーツ公園内の施設で榎葉町サイクリングターミナルに隣接している。太平洋を眺めながらの温泉浴は、心もからだもリフレッシュできる。 黄金色のしっとりとした塩化物泉、源泉100%、旅の疲れを癒してくれ、また皮膚病、神経痛に特に適応すると大好評。スポーツで汗をながした後などにも、気軽に利用できる。	榎葉町	一般財団法人 榎葉町振興公社
	34	夜の森(よのもり)の桜並木	富岡町の誇りの桜並木。樹齢80年以上の木も多く、始まりは明治時代の植樹に由来。福島県を代表する桜の名所。富岡駅から約4km、夜ノ森駅から約1km。全長2.2kmにわたり420本が植えられ、現在は800m・190本のみ観桜可能。樹種はソメイヨシノなどで、夜の森地区全体で1200本の桜がある。道路を通行することはできる。令和5年に帰宅困難区域解除の予定。	富岡町	富岡町役場
	35	星空ツアー	あぶくまロマンチック街道構想推進協議会が主催する星空ツアー。星空観察や天文講座、バーベキューや木工体験ができる1泊2日のツアー。 あぶくまロマンチック街道構想推進協議会は、国道399号線とつながる5市町村、飯館村、浪江町津島、葛尾村、田村市都路、川内村の元気を発信している。	飯館村	あぶくまロマンチック街道構想推進協議会

この列の各枠囲みをクリックすると、
該当個票ページに飛びます。↓

福島12市町村における魅力ある観光資源や訪問先の一覧表

営業時間やイベントの開催の最新情報につきましては、個票記載のホームページでご確認、又はお問い合わせ先にお問い合わせください。

テーマ	No.	観光資源	概要	自治体名	事業主体又は問合せ先
復興	36	福島ロボットテストフィールド	福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された「福島ロボットテストフィールド(RTF)」は、陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点であり、インフラや災害現場など実際の使用環境を再現し、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設である。	南相馬市	公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
	37	過去を振り返り未来を語る復興の歩み	東日本大震災に伴う原発事故によって変わってしまった楢葉町の様子や復興へ向けて前に進んでいる姿をふるさと案内人がお話しする。まちの語り部は活動している。	楢葉町	一般社団法人 ならばみらい
	38	楢葉(ならば)遠隔技術開発センター	東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所の廃炉推進のために遠隔操作機器(ロボット等)の開発実証施設として整備され、2016年4月より外部利用を開始している。(見学は平日のみ) 研究管理棟と試験棟があり、研究管理棟は、廃炉作業の作業計画検討や作業者訓練等に活用可能なバーチャルリアリティシステム、ロボットシミュレータ、音響映像設備を備え多目的室等を備えている。ロボットの遠隔技術や原子炉建屋内の一部を再現したVRを体験し、最先端の廃炉研究を見学可能。	楢葉町	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
	39	NPO法人富岡町3.11を語る会	震災からの避難体験を町民自らの言葉で語り、復興が始まったばかりの福島と富岡町を語り伝えている。出張対応可能。さくらモールとみおか内に事務所がある。	富岡町	NPO法人 富岡町3.11を語る会
	40	東京電力廃炉資料館	原子力事故の記憶と記録を残し、二度とこのような事故を起こさないための反省と教訓を社内外に伝承することは、当社が果たすべき責任の一つである。長期にわたる膨大な廃炉事業の全容が見える化し、その進捗をわかりやすく発信することは、国内外の英知の結集と努力を継続させていくうえでも大切である。関係施設及び周辺地域などと連携を取りながら、原子力事故を後世にお伝えしていくと共に、復興に向けた皆様の安心につながるよう努めていく。	富岡町	東京電力ホールディングス株式会社
	41	東日本大震災・原子力災害伝承館	複合災害の記録と記憶を後世に伝えるとともに、復興に向けて力強く進む福島県の姿や国内外からの支援に対する感謝の思いを発信する施設の整備を進めている。展示物と映像から当時の大規模災害の状況とその後の復興過程を学ぶことができる。津波や原子力災害で被災した施設や復興の状況を実際に間近で見ること、被災地を体感できる。語り部の生の声を聞き、記録・経験・教訓を次の世代へと引き継ぐことをしている。館内にはガイドが在中している。	双葉町	東日本大震災・原子力災害伝承館
	42	浪江町震災学習体験フィールドワーク	今なお被災当時の様子がほぼそのまま残っている請戸小学校。東日本大震災による津波で甚大な被害を受けたが2020年4月に9年ぶりに競りが再開した請戸漁港。町の交流情報発信拠点として令和2年8月1日開所した道の駅なみえなど浪江町内を歩く、見て聞いて考えるフィールド学習を体験することにより、ありのままの姿と復興に挑戦し続ける人々との対話を通して、未来にどう活かすかを考えるきっかけを得ることができる。	浪江町	双葉郡まちづくり協議会
	43	復興交流館「あぜりあ」	葛尾村復興のシンボルとして、2018年6月に開所した交流施設。葛尾村を知っていただくための入り口となる施設として、憩いの場、村に関する様々な情報を提供している。	葛尾村	一般社団法人 葛尾むらづくり公社
	44	とみおかアーカイブ・ミュージアム	2021年7月11日(日)にオープンした町の成り立ちと複合災害がもたらした地域の変化を後世に伝える施設。館内は、体験や情報発信を中心としたタウンギャラリー、地域の特徴や震災遺産と原発事故の経験・教訓を伝える常設・企画の二つの展示室、そして約5万点にのぼる収蔵資料のメンテナンス・整理保管を行う収蔵庫、と大きく三つのエリアに分かれている。 それぞれの土地で、ふるさとに心を寄せ続けてきた町民の生活・地域資料を保存し、突然奪われた「当たり前」の日常」を展示することにより、町の歴史や人々の暮らしと併せて、自然災害や原発事故の経験を未来に継承する施設となっている。	富岡町	富岡町役場
	45	震災遺構 請戸小学校	2011年3月11日の東日本大震災の脅威や教訓とともに地域の記憶や記録を後世に伝え、防災意識の向上を図るため、被災した町立請戸小学校を震災遺構として一般公開している。	浪江町	浪江町教育委員会事務局 郷土文化係
物産	46	道の駅南相馬	南相馬市の特産品、お土産、農産物を数多く販売し、レストランメニューにも地場食材を用いたメニューを多く提供している。	南相馬市	株式会社野馬追の里
	47	かわまた銘品館シルクピア	かわまた銘品館シルクピアは、1992年にオープン、川俣の絹織物、工芸品、牛乳・乳製品、ヘルシーな川俣シャモ等銘品の数々を紹介するとともに展示・販売をしている。この施設は、町のイベントや観光情報、道路情報を提供し、ドライバーの休憩場所として、また、人と人、人と地域の交流の拠点となっている。	川俣町	株式会社 川俣町農業振興公社
	48	道の駅ならば	「道の駅ならば」の温泉施設の1階は、フードコート、キッズコーナー等があり、2階には疲れを癒す日帰温泉がある。県内の様々なお土産や地域特産品を約2000種類取りそろえている物産館が併設されている。フードコートでは、特産料理「マミーすいとん」を食べることができる。 震災後、物産館は一時、双葉署の臨時庁舎となっていた。外壁にひびが入るなど被害も大きかったため、町が復旧を進めていた。道の駅ならばの温泉施設は2019年4月に再開し、2020年6月に物産館が再開した。	楢葉町	一般財団法人 楢葉町振興公社
	49	双葉町産業交流センター【F-BICC(エフビック)】	フードコートやレストランのほかに貸会議室も設けられており、伝承館・復興祈念公園に訪れる方等双葉町を訪れる方の利便性の向上や復興に向けて人の交流を生む拠点としての役割を担っている。1階には、ここにしかないものとして双葉だるまやタオルを販売している。	双葉町	双葉町復興推進課
	50	道の駅なみえ	町の交流情報発信拠点として令和2年8月1日開所。地場産品の販売、請戸漁港で水揚げされた魚を使ったレストランあり。令和2年3月には隣接施設として国の伝統工芸品大堀相馬焼の体験工房と浪江町請戸地区にあった鈴木酒造が酒蔵をオープンする。 馬場有前町長の発案により開始したプロジェクト。全町避難が続く中、帰れる時期が来た時に、賑わいを作るためにプロジェクトが進められてきた。施設先行ではなく、中身をどう作るかを中心に考え、役場が整備の中心となりつつも、民間人の力と、何より町民の意見を反映しつつ検討を進めてきた。	浪江町	一般社団法人まちづくりなみえ
	51	南相馬市SA利活用拠点施設「セデッテかしま」	「南相馬鹿島サービスエリア」に隣接している市の施設で、相馬地方の方言で「連れてって」を語源とする観光交流施設である。施設では、お食事のほか、地域の特産物の販売や様々な情報の発信を行っている。一般道からの利用も可能である。	南相馬市	株式会社野馬追の里
	52	いいたて村の道の駅までい館	杉材の温かさや花が彩るガラスの空間が特徴の交流施設である。花や野菜の直売、お土産、軽食のコーナーの他、コンビニも設置されている。	飯館村	株式会社までいガーデン ピレッジいいたて
宿泊	53	J-VILLAGE(再掲)	サッカーのナショナルトレーニングセンターである。震災後、原発事故の対応拠点となり、一時休業していたが、2019年4月より施設が全面再開。観客席付スタジアムを含め天然ピッチ8面、人工芝ピッチ2面、雨天練習場、ホテル(総客室数200)、フィットネスジム、アリーナ、プールなどを備えており、サッカー以外の一般観光客の利用も可能である。2021年東京五輪の聖火リレーの出発式の会場となった。	楢葉町・広野町	J-VILLAGE
	54	展望の宿 天神	天神岬スポーツ公園内の施設で楢葉町サイクリングターミナルと同じ建物に入っている。「展望の宿 天神」は、全室海向きで太平洋が一望できる、爽快な景色が楽しめる宿泊施設である。	楢葉町	一般財団法人 楢葉町振興公社
	55	福島いこいの村なみえ	震災後の8年目となる2018年6月に再開した公共の宿。宿泊棟の一部が地震等の影響で減築となり、それに代わる宿泊棟として、町外での避難生活で活用していたログタイプの仮設住宅を移築したコテージがある。コテージは、廃棄物になる予定だったが、町からの強い要望により再利用が実現。震災前から、くつろぎ集いの場として活用されてきた施設周辺は、緑に囲まれ、どこか懐かしく、温かさを感じられるふるさとの宿。料理場を整備し令和3年からは震災前に評判だった料理も提供。パーベキュー設備あり。	浪江町	福島いこいの村なみえ

↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

1~5 第一次産業

川俣町

基本情報	
資源名	1 かわまたアンズリウム施設見学
実施主体（事業者等）	川俣町ポリエステル媒地活用推進組合
住所	福島県伊達郡川俣町大綱木字大木田25 他
TEL	080-8254-5819
FAX	024-565-3158
E-MAIL	y.hid3995@docomo.ne.jp （事務局 安田秀吉 様）
URL	https://www.town.kawamata.lg.jp/site/kanko-event/kawamata-anthurium.html
営業時間	9:00～15:00
定休日	不定休
料金	見学無料
駐車場	3台程度
最寄駅からの交通手段 など	JR東北本線 松川駅より、タクシーで18分 または 東北自動車道 松川スマートICより30分 東北中央自動車道 霊山飯館ICより25分 常磐自動車道 浪江ICより55分 磐越自動車道 船引三春より35分
体験メニュー	施設見学

観光資源の特徴
<p>アンズリウムは、かわいらしいハート型でエナメルのようにつややかな質感の鮮やかな葉が特徴で、赤、白、ピンク、緑、紫など、色の種類も豊富で、花持ちが良く、切り花や鉢植えとしても非常に人気である。</p> <p>震災からの早期復興を支援するため、近畿大学による「"オール近大"川俣町復興支援プロジェクト」の一環として栽培を開始した花で、古着等をリサイクルした土壌汚染と無縁なポリエステル媒地で栽培している。</p> <p>また、組合にて、栽培における説明をしていただける。購入も可能ですので、事前にお問い合わせください。</p>



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

1~5 第一次産業

広野町

基本情報	
資源名	2 トロピカルフルーツミュージアム（広野町産バナナ 綺麗）
実施主体（事業者等）	株式会社広野町振興公社
住所	二ツ沼総合公園内 福島県双葉郡広野町大字下北迫字大谷地原58トロピカルフルーツミュージアム
T E L	0240-23-7704
FAX	0240-23-7751
E-MAIL	contact@hirono-kousha.com
URL	https://www.hirono-kousha.com/our-business/fruit/
営業時間	見学可能時間 9：00～16：00
定休日	月（祝日の場合は営業） 12月30日・31日、1月1日
料金	見学無料（バナナは小サイズ：200円、大サイズ300円、直売は週末限定）
駐車場	自家用車700台、大型バス10台、車いす5台
最寄駅からの交通手段など	JR常磐線 広野駅より、タクシーで5分 または 常磐自動車道 広野ICより5分
体験メニュー	国産バナナの栽培施設（園芸ハウス）の見学、国産バナナの購入、ジュースとシェイクの販売

観光資源の特徴
<p>バナナの主な産地はフィリピンやインドネシア、台湾など温暖な気候の地域である。日本でも栽培されているものの、ごく限られた地域のみで、東北地方・福島では栽培されていなかった。</p> <p>「綺麗」と名付けられるその品種はコンピューター制御によって管理され、皮まで食べられる。</p> <p>2018年9月に町と住民の希望となる150株の苗が植えられた。町の夢と希望を託されたバナナの苗はぐんぐんと成長し3メートルを超えるほどになった。そして2019年8月、関係者の苦労と努力が実を結び、初めての収穫を迎えることができた。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

1~5 第一次産業

大熊町

基本情報	
資源名	3 ネクサスファームおおくま
実施主体（事業者等）	株式会社ネクサスファームおおくま
住所	福島県双葉郡大熊町大字大川原西平2127番地
T E L	0240-23-7671
FAX	0240-23-7595
E-MAIL	info@nexus-f.co.jp
URL	https://nexus-f.co.jp/
営業時間	午前8時から午後5時まで
定休日	年中無休
料金	工場見学10名～30名程度で、施設内の見学（随行員による説明あり）、いちごの試食付きで60分～90分程度。圃場には立ち入れませんが、栽培の様子は見えます。 料金は1名につき1500円程度で人数や内容によって増減します。見学プランは柔軟に対応いたします。
駐車場	普通車50台程度可能。大型バス複数駐車可能。
最寄駅からの交通手段	JR常磐線 大野駅より車で10分 または 常磐自動車道（東京方面から）常磐富岡ICより10分（仙台方面から）大熊ICより10分
体験メニュー	団体の工場見学（視察）を受け入れています。 いちご狩りなどの観光農園事業は行っていません。

観光資源の特徴
<p>太陽光利用型植物工場で『夏秋いちご』と『冬春いちご』の周年栽培を行っている。</p> <p>『ポットスライド型高設養液栽培』により労働負担の軽減と、人と機械の分業を行い、農作業を楽にする工夫を行っている。</p> <p>『環境制御システム』により、栽培環境、作業環境、経営環境のバランスを考えた効率的な栽培を行っている。</p> <p>復興・生業再生の新たな取組として、2019年の大川原地区避難指示解除後に栽培を開始した。冬季（12月～5月）は日時限定で冬いちごの直売あり。</p>



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

1~5 第一次産業

葛尾村

基本情報	
資源名	4 かつらおやぎ広場 がらがらどん
実施主体（事業者等）	株式会社かつらおファーム
住所	福島県双葉郡葛尾村上野川東38-2
T E L	0240-23-6614
FAX	0240-23-6615
E-MAIL	info@katsuraoyagi.co.jp
URL	https://www.katsuraoyagi.co.jp/
営業時間	水～金 11：00～16：00（こちらは前日までに要予約） 土日祝 10：00～16：00 ※雨風が強い日は臨時休園 ※ふれあい体験可能時間 11：00～14：30(平日) 10：30～14：30(土日祝)
定休日	月曜日・火曜日、休園期間あり（12月～3月）
料金	【入場料】 中学生以上 300円 小学生 200円 園児無料 【ふれあい体験】 ・餌やり 300円（バッジ付） ・やぎ散歩 300円（バッジ付） ※バッジなくなり次第終了。
駐車場	あり／25台
最寄駅からの交通手段など	常磐自動車道 浪江ICより40分 磐越自動車道 船引三春ICより25分
体験メニュー	地域密着の観光牧場 ヤギとのふれあい体験 Tシャツ、タオル、ヤギ乳から作った石けんの購入

観光資源の特徴

現地でしか食べられない山羊ミルクを使用した料理を提供するカフェや山羊やポニーと触れ合える「ふれあい広場」の建設を予定。15年前から手作り化粧石鹸「山羊ミルク石鹸」を販売している。葛尾村民や福島県の協力もあり、2021年5月に観光牧場としてオープン。（現在のヤギの頭数はおよそ80頭）



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

1~5 第一次産業

葛尾村

基本情報	
資源名	5 ホープホワイト（胡蝶蘭）
実施主体（事業者等）	かつらお胡蝶蘭合同会社
住所	福島県双葉郡葛尾村大字落合字菅ノ又148-2
TEL	0240-37-4380
FAX	0240-37-4381
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://hopewhite.jp/
営業時間	【午前】9:00～12:00 【午後】13:00～16:00
定休日	—
料金	胡蝶蘭 ハイグレードタイプ(5本立) 44,000 円 胡蝶蘭 スタンダードタイプ(3本立) 22,000 円 化粧蘭(2本立) 26,400 円
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段 など	常磐自動車道 浪江ICより35分、常磐自動車道、船引三春ICより40分
体験メニュー	「平成30年冬季品評会」において、洋蘭の部で銀賞を受賞した胡蝶蘭を栽培・販売

観光資源の特徴
<p>東日本大震災で起きた原発事故以降、避難指示が出されていた葛尾村に、住民の帰村と新規移住による人口増加、新たな産業の創出を目指し、葛尾村に胡蝶蘭栽培と販売を始めた。</p> <p>復興支援事業として、福島県双葉郡葛尾村で生産している胡蝶蘭『hope white(ホープホワイト)』が、埼玉県「平成30年冬季品評会」において洋蘭の部で銀賞を受賞致した。この受賞は復興大臣賞受賞に続く、2つ目の栄誉となった。</p>



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

田村市

基本情報	
資源名	6 都路灯まつり（みやこじひまつり）
実施主体（事業者等）	都路灯まつり実行委員会
住所	田村市都路町岩井沢北向185-1／グリーンパーク都路
T E L	0247-75-3550
FAX	—
E-MAIL	—
URL	—
開催時期	8月第1土曜日 15～20時
定休日	—
料金	—
駐車場	駐車可能台数が少ないため、シャトルバス利用
最寄駅からの交通手段	JR磐越東線 船引駅より、タクシーで約35分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
1万本の竹灯に火を灯す夏の風物詩として、定着した夏のイベントである。ステージでは、郷土芸能や早食い競争、ミュージシャンのライブなどが行われる。祭りのクライマックスは打ち上げ花火で、竹灯とのコラボはまさに絶景である。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

南相馬市・相馬市

基本情報	
資源名	7 相馬野馬追（のまおい）
実施主体（事業者等）	相馬野馬追執行委員会
住所	南相馬市原町区本町二丁目27番地
T E L	0244-22-3064
FAX	0244-22-3100
E-MAIL	—
URL	https://soma-nomaoi.jp/
開催時期	7月末の土・日・月曜日
定休日	—
料金	<ul style="list-style-type: none"> ・団体観覧指定席(20名以上) 1,500円/人 対象行事: 甲冑競馬 神旗争奪戦 ・行列観覧席(4名以上) 3,000円/人 対象行事: お行列（場所: 野馬追通り） ・入場観覧券(当日券) 1,000円/人(高校生以上) 対象行事: 甲冑競馬 神旗争奪戦 ・場内撮影許可証 4,000円/人 対象行事: 甲冑競馬 神旗争奪戦
駐車場	当日は交通規制等で道路が混み合いますので、公共交通機関を利用しのご来場をおすすめしています。相馬野馬追2日目（本祭り）開催時は、原ノ町駅からシャトルバス運行（所要時間約10分）
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 原ノ町駅より、車で約10分 （または、常磐自動車道 南相馬ICより車で15分）
体験メニュー	野馬追観覧

観光資源の特徴
<p>相馬野馬追は一千有余年の昔、相馬氏の祖といわれている平将門が下総国（千葉県北西部）に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりと伝えられ、現在では、毎年7月最終の土曜日・日曜日・月曜日、甲冑に身を固めた400余騎の騎馬 武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な時代絵巻を繰り広げる。</p> <p>※ 暴風雨でない限り雨天決行。日傘雨傘は禁止。屋外で屋根はなく、熱中症予防のため、参加者は帽子や飲み物をご持参ください。雨天の場合は雨合羽を持参ください。</p> <p>※ 団体観覧席（20人以上）は、予約が必要であり、（例年5月頃予約開始）相馬野馬追執行委員会に旅行事業者からお申込みください。</p> <p>※ 南相馬市博物館でDVDが販売されています。南相馬市博物館 Tel：0244-23-6421</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

南相馬市

基本情報	
資源名	8 野馬追通り銘醸館
実施主体（事業者等）	一般社団法人南相馬観光協会
住所	南相馬市原町区本町二丁目52番地
T E L	0244-22-2114
FAX	0244-22-2115
E-MAIL	info@minamisomakanko.org
URL	https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/sections/16/1630/1/1665.html
営業時間	9：00～17：00（施設利用は21：00まで）
定休日	年末年始
料金	入場無料 着付体験；足軽甲冑：2,000円～、武将甲冑：3,000円～
駐車場	あり駐車場料金無料（20台） ※備考南相馬市民文化会館（ゆめはっと）の西側駐車場(285台)も利用可
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 原ノ町駅より、タクシーで10分 または 常磐自動車道 南相馬ICより10分
体験メニュー	甲冑や馬具の展示、見学、鎧甲冑着付け体験、お食事処食彩庵、野馬追関連グッズの販売

観光資源の特徴
一千年以上の伝統を持つ「相馬野馬追」の里で鎧甲冑着付け体験ができる。この地域ならではのおもてなしで戦国時代の気分を味わえる。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

南相馬市

基本情報	
資源名	9 大悲山（だいひさん）の石仏
実施主体（事業者等）	南相馬市教育委員会文化財課
住所	南相馬市小高区泉沢薬師堂前ほか
T E L	0244-24-5284
FAX	—
E-MAIL	—
URL	https://odaka-kanko.jp/c-kankou/index03.html
営業時間	—
定休日	年中無休
料金	—
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段 など	JR小高駅より車で10分。 またはJR桃内駅より徒歩20分 または 常磐自動車道（東京方面から）浪江ICより15分（仙台方面から）南相馬ICより30分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
南相馬市小高区泉沢にある「薬師堂石仏」「観音堂石仏」「阿弥陀堂石仏」は「大悲山の石仏」として親しまれている。この石仏群は東北地方で最大、最古の石仏であり、昭和5年に国指定史跡に指定された。福島県南相馬市小高大悲山磨崖仏、栃木県宇都宮大谷磨崖仏、大分県臼杵磨崖仏を日本三大磨崖仏と称している。



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

川俣町

基本情報	
資源名	10 からりこ館
実施主体（事業者等）	福島県織物同業会
住所	伊達郡川俣町大字鶴沢字東13-1 道の駅かわまた内
T E L	024-565-4889
FAX	024-565-4889
E-MAIL	orikumi@athena.ocn.ne.jp
URL	https://www.town.kawamata.lg.jp/site/kanko-event/silkpia-karariko.html
営業時間	9:00～17:00（最終入館16:30）
定休日	毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日）および12月29日～1月3日
料金	体験料は体験メニューの通り
駐車場	普通車：69台 大型車：11台
最寄駅からの交通手段など	JR東北本線 松川駅より、タクシー18分 または 東北自動車道 二本松ICまたは福島西ICより35分 東北中央自動車道 霊山飯舘ICより25分、常磐自動車道 南相馬ICより50分
体験メニュー	①メニュー名：木綿コースター織り体験 料金300円（高校生以下） 料金500円（ ②シルクコースター織り体験 料金700円（全員） ③メニュー名：教室（草木染体験、木綿のテーブルセンター織り体験、マフラー編み体験） 料金：4200円～15,000円

観光資源の特徴
<p>からりこ館は、1995年にオープンし、絹織物の歴史、伝統技術の紹介に加え、機織り、染色に関する研修や体験学習のできる施設となっている。織物体験実習室では、昔ながらの手織り体験で川俣の歴史に触れることができる。染め体験実習室では、美しい絹織物に欠かせない染色も体験できる。</p>



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

富岡町

基本情報	
資源名	11 麓山（はやま）の火祭り
実施主体（事業者等）	富岡町役場産業振興課
住所	上手岡麓山神社（福島県双葉郡富岡町大字上手岡字麓山1）
T E L	0240-22-2111
FAX	—
E-MAIL	—
URL	https://tomioka-plus.or.jp/blog/tomioka_hayamanohimatsuri/
営業時間	毎年8月15日 午後6時から（「七拾五膳の献膳」の儀式は午前中）
定休日	—
料金	—
駐車場	祭り開催時に臨時駐車場有
最寄駅からの交通手段など	JR常磐線 夜ノ森駅より、車で約10分 または 常磐自動車道 常磐富岡ICより車で5分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
毎年8月15日に行われ、福島県指定重要無形民俗文化財に指定されている。400年続いている神事。神社に火をもって登る祭り。間近で見ると、松明の火は圧巻、また火の粉が降り注ぐ中、ふんどし姿で駆けていく担ぎ手の勇姿が見られる。 東日本大震災が発生した2011年から2017年までは中断していたが、2018年8月から再開した。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源調査票フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

川内村

基本情報	
資源名	12 かわうち草野心平記念館
実施主体（事業者等）	川内村教育課生涯学習係
住所	双葉郡川内村大字上川内字早渡513
T E L	0240-38-3805
FAX	0240-38-3807
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	http://www.kawauchimura.jp/page/page000108.html
営業時間	9：00～16：00
定休日	月曜(祝日の場合は開館)
料金	一般300円、高校生・学生250円、小・中学生150円(20名以上の団体は50円の割引になります)
駐車場	有(大型バス可)
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 富岡駅よりバス（農協前下車）、徒歩8分 または 常磐自動車道・常磐富岡ICから車で30分 磐越自動車道 小野ICより40分
体験メニュー	見学

観光資源の特徴
美しいロケーションに溶け込む趣のある木造真壁づくりで茅葺屋根の天山文庫。文化勲章を受章した草野心平が過ごした施設。設立には井上靖、川端康成などの多くの文豪が発起人として関わっている。 併設されている草野心平資料館には、草野心平の日記や詩など資料が展示されている。また毎年7月には天山祭りが開催される。



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

双葉町・いわき市

基本情報	
資源名	13 双葉だるまの絵付け体験教室
実施主体（事業者等）	J A 福島さくら女性部双葉支部
住所	福島県いわき市泉町黒須野早稲田92-13
TEL	0246-88-9855
FAX	—
E-MAIL	info@futabadaruma.jp （以下のホームページに問い合わせフォームもあります。）
URL	http://futabadaruma.jp/
営業時間	絵付け体験が可能かどうかは、 上記TEL、E-MAIL、ホームページの問い合わせフォームにお問い合わせください。 なお、双葉だるまは、双葉町産業交流センター（個票49）で販売中。
定休日	
料金	
駐車場	
最寄駅からの交通手段	
体験メニュー	

観光資源の特徴
<p>顔の周りの太平洋をイメージした青いふちどりが特徴の双葉だるまである。希望に応じて、絵付け体験教室も開催している。</p> <p>江戸時代から伝わる新春の恒例行事である双葉町ダルマ市は、2020年1月には、復興公営住宅勿来酒井団地で開催され、双葉miniダルマが販売された。現在、双葉町産業交流センター（個票49）で販売中。</p>



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

葛尾村

基本情報	
資源名	14 葛尾大尽屋敷跡
実施主体（事業者等）	葛尾村教育委員会
住所	福島県双葉郡葛尾村大字葛尾敷井畑109
T E L	0 2 4 0 - 2 9 - 2 1 7 0
FAX	0 2 4 0 - 2 9 - 2 1 2 3
E-MAIL	kyouiku@vill.katsurao.lg.jp
URL	—
営業時間	—
定休日	—
料金	無料
駐車場	25台
最寄駅からの交通手段 など	JR磐越東線 船引駅より、タクシーで35分 または 常磐自動車道 浪江ICより40分 又は 東北自動車道 二本松ICより60分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
<p>藤原氏の流れを汲み、信州葛尾城主だったと伝えられる松本勘ヶ由介の孫、松本好倉が初代の松本三九郎と目されるが、生糸や製鉄業などで巨大な富を築き、「葛尾大尽」と呼ばれるようになった。</p> <p>明治4年・明治8年の火災で、豪壮を極めた建物の大半を焼失した。</p> <p>屋敷跡として石垣や庭園が残っていたが、平成18年の発掘調査により、48棟あったと伝えられる蔵の基礎石や、近江八景庭園跡の全体が発見され、葛尾大尽屋敷跡公園として公開されている。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

6~15 伝統文化

飯館村

基本情報	
資源名	15 山津見神社
実施主体（事業者等）	山津見神社
住所	福島県相馬郡飯館村佐須虎捕266
T E L	0244-42-0846
FAX	—
E-MAIL	—
URL	—
営業時間	—
定休日	—
料金	—
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段 など	阿武隈急行線 二井田駅より、タクシーで30分 または 東北中央自動車道 霊山飯館ICより10分
体験メニュー	事前予約により、説明いただける。お守り・シール（自販機あり）などの購入

観光資源の特徴
<p>全国的にも珍しいオオカミ信仰の神社である。 200枚を越えるオオカミが描かれた天井画で知られていたが、原発事故による避難をしていた2013年4月に火災が発生し、消失した。しかし、写真をもとに、東京芸術大学の学生たちによって天井画が復元。再建された拝殿に納められている。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

田村市

基本情報	
資源名	16 グリーンパーク都路（ホップガーデンブルワリー）
実施主体（事業者等）	田村市（赤そば）、株式会社ホップジャパン（ビール）
住所	福島県田村市都路町岩井沢北向185-6 グリーンパーク都路内
T E L	0247-61-5330
FAX	0247-61-5331
E-MAIL	information@hopjapan.com
URL	https://hopjapan.com/
営業時間	9：00～17：00
定休日	不定休
料金	—
駐車場	25台
最寄駅からの交通手段 など	JR磐越東線 船引駅よりタクシーで25分 または 磐越自動車道（郡山方面から）船引三春ICより30分 （いわき方面から）田村スマートICより25分 常磐自動車道 大熊ICより35分
体験メニュー	ビールの販売、オートキャンプ場、ディスクゴルフ（貸出あり）

観光資源の特徴
<p>ネパール等を原産とする「赤そば」の栽培を2019年からグリーンパーク都路で開始した。10月中旬から11月上旬にかけて、原風景に群生する赤色が濃い花は一見の価値がある。収穫した赤そばは、スカイパレスときわで食することができる。</p> <p>「ホップガーデンブルワリー」は、「グリーンパーク都路」を一部改修し、開設された。ホップの収穫から実際にビールを飲むところまで体験できる。ホップをふんだんに使用した高品質なビールを7種類製造する予定であるが、2020年11月にオープンしたので、仕込みの状況で現在、3種類のみ提供している。</p> <p>なお、オートキャンプ、キャンプが可能で、オートサイト1泊4,500円～、手ぶらキャンプセット1泊33,500円。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

田村市

基本情報	
資源名	17 ゆいプリンリッチ
実施主体（事業者等）	MIYAKOJI sweets yui
住所	田村市都路町岩井沢字道ノ内65-1
T E L	0247-73-8380
FAX	—
E-MAIL	—
URL	https://www.miyakoji-sweets-yui.com/
営業時間	9：30～18：00
定休日	毎週水曜日
料金	ゆいプリン 180円、ゆいプリン（リッチ） 350円、チーズケーキ 350円他
駐車場	15台
最寄駅からの交通手段 など	JR磐越東線 船引駅でバス45分 または 常磐自動車道 大熊ICより30分 磐越自動車道 船引三春ICより40分
体験メニュー	—

観光資源の特徴

みやこじスイーツゆいでは、地場産品である「都路のたまご」を使用し、安全でからだにやさしいお菓子を提供している。クリスマスにはイルミネーションを施したり、イートインスペースでの交流や、学生さんの職場体験の場など、地域のコミュニティの場としても活用されている。

ゆいプリンリッチは、都路たまごをたっぷり使った、とろーりなめらか極上プリン。



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

川俣町

基本情報	
資源名	18 川俣シャモ料理
実施主体（事業者等）	川俣町農業振興公社 道の駅レストラン Shamoll(シャモール)
住所	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東13-1
T E L	024-565-5250
FAX	—
E-MAIL	—
URL	https://www.town.kawamata.lg.jp/site/kanko-event/shamoll.html
営業時間	午前11時から午後4時まで（※冬期間は午前10時から午後3時まで）
定休日	毎週火曜日（祝日の場合その翌日）、年末年始
料金	ランチメニュー税込み（親子丼880円、特上もも肉炙り親子丼1,500円） カフェタイムメニューとしてトーストセットやケーキセットあり。35席。
駐車場	普通車35台、大型車11台、障害者用3台（道の駅川俣併設）
最寄駅からの交通手段など	JR東北本線 松川駅より、タクシーで20分 または 東北自動車道 松川スマートICより25分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
<p>川俣シャモは、阿武隈山地の豊かな自然に恵まれた地で、平飼いでこのびのび育てている。また、定められたマニュアルによって、種鶏管理、孵化、育雛、肥育から出荷まで、川俣町内で徹底した一元管理をしている。</p> <p>震災後、シャモ農家が品質と安全性の確保のために“屋内運動場”を整備して取り組んでいる。また、シャモを使って、長さ16mの世界一長い焼き鳥や106羽の丸焼きなど話題性がある。</p> <p>シャモールのほか、川俣シャモ料理研究会が、川俣シャモが食べられるお店9選を「川俣シャモグルメガイドマップ」(https://www.town.kawamata.lg.jp/uploaded/attachment/16062.pdf)にて紹介している。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

川俣町

基本情報	
資源名	19 ブルーベリージェラート
実施主体（事業者等）	近畿大学農学部
住所	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東13-1（個票47 かわまた銘品館シルクピア内での販売）
TEL	024-566-5253
FAX	024-566-5317
E-MAIL	silkpia@kawamata-shamo.com
URL	https://www.town.kawamata.lg.jp/site/kanko-event/silkpia-meihinkan.html
営業時間	9:00~18:00（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、開館時間9:00~17:00）
定休日	12月30日午後3時から1月1日まで（営業時間とも、個票47 かわまた銘品館シルクピアと同じ）
料金	1個あたり350円（税抜）
駐車場	普通車（53台）、大型車（11台）、障がい者専用（3台）
最寄駅からの交通手段 など	JR東北本線 松川駅、タクシーで18分 または 東北自動車道 福島松川スマートICより25分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
<p>川俣町と町農業振興公社、近畿大学などが、同町山木屋産のブルーベリーを使った新商品「かわまたジェラート ブルーベリーミックス」を開発。道の駅川俣の銘品館シルクピアで数量限定で販売。</p> <p>商品化に向けて同大の学生がレシピの考案や試食調査、ブルーベリーの収穫、パッケージデザインを手掛けてきた。ジェラートには9品種のブルーベリーを使用。果肉のほかにジャムも加え、ジェラートの販売・企画を手掛けるテンダーボックス（奈良県）が滑らかに仕上げた。1個378円で限定180個。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

檜葉町

基本情報	
資源名	20 ならはマミーすいとん
実施主体（事業者等）	一般社団法人檜葉町振興公社
住所	—
TEL	—
FAX	—
E-MAIL	—
URL	https://www.town.naraha.lg.jp/kanko/goods/006433.html
営業時間	檜葉町天神岬スポーツ公園内（個票28）のレストラン岬や、道の駅ならは（個票48）、 Jヴィレッジ（個票27、56）内レストランで食べることができます。
定休日	
料金	
駐車場	
最寄駅からの交通手段	
体験メニュー	

観光資源の特徴
家庭料理として地元で昔から親しまれてきたすいとんを、サッカー日本代表監督（当時）トルシエ氏が「故郷のおばあちゃん味の味」と評したことから「マミーすいとん」と命名された地元料理。シンプルで素朴ながらも人気のメニューである。震災により「マミーすいとん」を提供していた飲食店が休業したが、道の駅ならは（個票48）のフードコートと檜葉町サイクリングターミナル（個票28）レストラン岬や、避難先のいわき市、会津美里町のイベントなどで復活させた。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

檜葉町

基本情報	
資源名	21 木戸川鮭築場
実施主体（事業者等）	木戸川漁業協同組合
住所	檜葉町大字前原字中川原68番地
T E L	0240-25-3414
FAX	0240-25-3417
E-MAIL	kidogawa_3414@yahoo.co.jp
URL	http://www.kidogawa.jp/index.html
営業時間	上記TEL、E-MAIL、ホームページの問い合わせフォームにお問い合わせください。
定休日	
料金	
駐車場	
最寄駅からの交通手段	
体験メニュー	

観光資源の特徴
<p>国内でも有数の鮭捕獲数を誇り、鮭溯上の時期になると多くの観光客が訪れる。近隣では、木戸川漁協が運営する直売所も設置されており、秋の味覚も楽しめる。10月中～11月中がシーズン。</p> <p>避難指示が解除された2015年の秋に人工ふ化を再開。翌年の春に、震災後初めて自分たちでかえした稚魚を放流した。その鮭が2015年から4年目の秋、木戸川に初めて帰ってきた。それに合わせて祭りも復活した。</p> <p>※ 鮭溯上につきましては、事業者にお問い合わせください。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

富岡町

基本情報	
資源名	22 とみおかワインブドウ栽培クラブ小浜圃場
実施主体（事業者等）	とみおかワインブドウ栽培クラブ
住所	福島県富岡町小浜438-1
TEL	0240-23-7606
FAX	—
E-MAIL	info@tomioka-wine.com （以下のホームページに問い合わせフォームもあります。）
URL	https://tomioka-wine.com/company/info
営業時間	視察は上記TEL、E-MAIL、ホームページの問い合わせフォームにお問い合わせください。
定休日	
料金	
駐車場	
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 富岡駅より、徒歩で16分 または 常磐自動車道 ならばスマートICより20分 又は富岡ICより15分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
<p>ワインづくりは、2016年4月からスタートした。この地でワインに対する思いは、ゼロからの地域づくりの一環であり、次の時代への贈り物でもある。富岡町内の小浜地区と下千里地区の2か所に、醸造用ブドウの試験圃場を5aずつ設置し、3月～4月に、各地区200本ずつ、計約400本を垣根仕立てで植え付け。その後、小浜地区では、平成29年春に約200本（10a）、平成30年春に300本（15a）を追加で植付けし、現在、2地区合せて35aに約900本のブドウを栽培している。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

川内村

基本情報	
資源名	23 かわうちワイナリー
実施主体（事業者等）	かわうちワイン株式会社
住所	福島県双葉郡川内村大字上川内字大平2番地の1
TEL	0240-25-8868
FAX	—
E-MAIL	info@kawauchi-wine.jp
URL	https://www.kawauchi-wine.com/
営業時間	視察は上記TEL、E-MAILにお問い合わせください。
定休日	
料金	
駐車場	
最寄駅からの交通手段 など	JR磐越東線 船引駅より、車で35分 または 常磐自動車道 常磐富岡ICより40分 又は 磐越自動車道 船引三春ICより40分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
阿武隈高地のほぼ中央、標高約750mと大自然の中に囲まれた広大な草地の一部（現在は約3ヘクタール）の圃場に醸造用のワインぶどう栽培を行っている。川内村を応援するボランティアや地域住民と協力し、メルロー、シャルドネ、それにカベルネ・ソーヴィニヨンの苗木を2016年から植え付け、今では約11,000本に達している。ワイン事業を通じて地域の”新たな食文化の探求”と”魅力創造”を目的に様々なイベントや農業体験・学びの場を提供している。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源調査票フォーマット（個票）

16~25 食文化

川内村

基本情報	
資源名	24 いわなの郷『厳選稀少素材・いわな料理&いわな釣り体験』
実施主体（事業者等）	いわなの郷
住所	福島県双葉郡川内村上川内炭焼場516
T E L	0240-38-3511
FAX	—
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	http://www.abukumakawauchi.com/
営業時間	いわな釣り堀 9:00～16:00 レストラン幻魚亭 11:00～16:00
定休日	毎週水曜(祝日の場合は翌日) 釣り堀冬季休業(12月上旬～3月中旬)
料金	いわな釣り釣り(竿レンタル310円) 【幻魚亭】いわな塩焼き定食1,020円、いわな唐揚げ定食1,020円
駐車場	150台 大型バスも駐車可能
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 夜ノ森駅 タクシーで40分 または 常磐自動車道 常磐富岡ICより35分 又は 磐城自動車道 小野ICより45分
体験メニュー	いわな釣り、お食事、バーベキュー、宿泊、入浴、キャンプ(貸出あり)

観光資源の特徴
定食や塩焼きなど四季折々のメニューを提供するレストランや岩魚釣りが体験できる釣り堀、体験交流館、コテージ(宿泊施設)がある。体験交流館では、川内村に伝わる昔ながらの味噌づくりや、そば打ちなどが体験できる。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

16~25 食文化

飯館村

基本情報	
資源名	25 「気まぐれ茶屋ちえこ」と「どぶろく」
実施主体（事業者等）	気まぐれ茶屋ちえこ
住所	相馬郡飯館村佐須字佐須200
T E L	0244-42-1303
FAX	—
E-MAIL	—
URL	http://www12.plala.or.jp/iitate-net/cyaya/cyaya.htm http://www.chuheisakai.ne.jp/kimagurechieko/
営業時間	水・木曜日定休日 完全予約制(2日前までの午前11時から午後3時まで電話での受付)
定休日	
料金	
駐車場	乗用車3台～5台程度
最寄駅からの交通手段 など	東北中央自動車道 霊山飯館ICより5分
体験メニュー	手作り定食(昔ながらの農家ご飯)、どぶろくや切り餅の販売

観光資源の特徴
<p>農家レストラン「気まぐれ茶屋ちえこ」にて生産・販売しているどぶろく。福島県内の「どぶろく特区」第1号に認定されており、辛口ですっきりとした風味で人気がある。</p> <p>瓶入りの『白狼』、ペットボトルタイプの「どぶちえ」の2種類のパッケージがあり、『白狼』は山津見神社（個票15）のオオカミになぞらえている。村の道の駅などで販売中。</p>



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

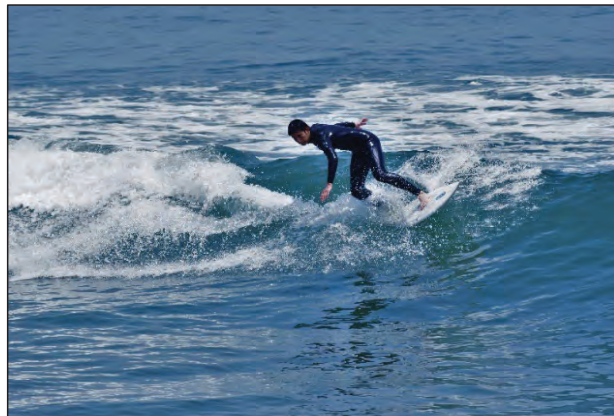
観光資源の基本情報フォーマット（個票）

26~30 スポーツ

南相馬市

基本情報	
資源名	26 北泉海水浴場
実施主体（事業者等）	南相馬市役所 経済部 観光交流課 交流推進係
住所	福島県南相馬市原町区金沢浦
TEL	0244-24-5263
FAX	0244-22-3100
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/sections/16/1630/3396.html
営業時間	—
定休日	開設期間：7月18日～8月21日（令和4年の場合）
料金	—
駐車場	乗用車：289台
最寄駅からの交通手段ほか	JR常磐線 原ノ町駅より、タクシーで15分 または 常磐自動車道 南相馬ICより20分
体験メニュー	海水浴 サーフィン

観光資源の特徴
北泉海岸の海水浴場は、全国でも有数のサーフスポットで、大会も開催されるなどサーフィンの聖地とも呼ばれている。7月には海開きが行われ、海水浴場としても人気のある場所で、カップルや家族でも楽しむことができる。また、近くには公園も整備されており、地元の憩いの場所でもある。 2019年、東日本大震災以降9年ぶりに海水浴場が再開された。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

26~30 スポーツ

檜葉町・広野町

基本情報	
資源名	27 J-VILLAGE
実施主体（事業者等）	株式会社Jヴィレッジ
住所	福島県双葉郡檜葉町大字山田岡字美シ森8番
T E L	0240-26-0111
FAX	—
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://j-village.jp/
営業時間	平日（火～金）10：00～21：00（最終入場20：30） ※ジム・プール利用時間は20：45まで。 土日・祝10：00～17：30（最終入場17：00） ※ジム・プール利用時間は17：15まで。
定休日	毎週月曜 ※月曜が祝日の場合も休館となります。
料金	フィットネスジム 大人 1日 2,200円 ホテル宿泊 1名 6,930円～
駐車場	有り
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 木戸駅より、徒歩15分 または 常磐自動車道 広野ICより5分
体験メニュー	ジム、プール、アリーナ、スタジオ、浴場、お食事・カフェ、サッカー商品購入

観光資源の特徴
<p>サッカーのナショナルトレーニングセンターである。震災後、原発事故の対応拠点となり、一時休業していたが、2019年4月より施設が全面再開。観客席付スタジアムを含め天然ピッチ8面、人工芝ピッチ2面、雨天練習場、ホテル（総客室数200）、フィットネスジム、アリーナ、プールなどを備えており、サッカー以外の一般観光客の利用も可能である。2021年東京五輪の聖火リレーの出発式の会場となった。</p> <p>【客室数】 シングル90室・ツイン60室・フォース38室・その他12室（合計200室）</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

26~30 スポーツ

檜葉町

基本情報	
資源名	28 天神岬スポーツ公園 檜葉町サイクリングターミナル
実施主体（事業者等）	一般財団法人 檜葉町振興公社
住所	福島県双葉郡檜葉町大字北田字上ノ原27-29
T E L	0240-25-3113
FAX	0240-25-5744
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	http://naraha-tenjin.net/
営業時間	
定休日	年2回不定休有
料金	宿泊 大人1名 8,800~17,100円（洋室、和室、コテージ、ロッジあり） レンタサイクル1時間以内330円、2時間550円（どちらも税込み） など
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 竜田駅より、徒歩20分 または 常磐自動車道 ならはスマートICより10分
体験メニュー	宿泊、お食事、キャンプ、オートキャンプ、サイクリングなど 天神岬スポーツ公園内に温泉施設「天神岬温泉 しおかぜ荘」あり

観光資源の特徴
<p>太平洋を一望できるスポーツ公園。晴天と大海原が成す雄大な景観と四季折々の花々が楽しめる。その他宿泊施設やキャンプ場、オートキャンプ場、レンタサイクルがある。公園内にあるサイクリングターミナルでは、宿泊施設やレストランも完備されており、ゆっくりと休むことができる。また、日帰り温泉も楽しむことができる。アイスショップウィンディランドのジェラートも人気。</p> <p>震災後は避難指示区域に入っていたが、平成27年に復旧が完了し再開した。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源調査票フォーマット（個票）

26~30 スポーツ

川内村

基本情報	
資源名	29 川内の郷かえるマラソン
実施主体（事業者等）	一般社団法人かわうちラボ
住所	川内村ヘリポート(福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡11-4)
T E L	0240-23-7040
FAX	0240-23-7048
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://www.k-labo.or.jp/
開催時期	不定期（春から夏期間にエントリー開始・実施。） 2022年は6/6エントリー開始（7/15締切）、9/25実施予定。
定休日	—
料金	ハーフ4500円 10km・5km4500円（高校以下2000円） 3km2000円 1.5km2000円 ファミリーー2人3000円 3人3500円 4人4000円
駐車場	700台
最寄駅からの交通手段	JR磐越東線 神俣駅より、タクシーで30分 または 常磐自動車道 常磐富岡ICより25分 又は磐越自動車道 小野ICより40分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
<p>川内村の魅力ランナーの皆さんに感じて、楽しんでいただく機会として「川内の郷 かえるマラソン」を開催する。そして、参加された方の「心のふるさと」として「また訪ねたい」と思ってもらえる大会に村民一丸となって取り組む。種目は、ハーフ・10km・5km・3km・1.5kmなどがある。参加人数は約1,500人。次回は2021年9月に実施予定。</p> <p>震災後、地域の小学生の発案で始まった。「川内」にちなみマラソン選手の川内優輝選手をゲストとして招き、開催している。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

26~30 スポーツ

葛尾村

基本情報	
資源名	30 ツール・ド・かつらお
実施主体（事業者等）	ツール・ド・かつらお実行委員会 一般社団法人葛尾むらづくり公社
住所	双葉郡葛尾村大字落合字落合20番地1
TEL	0240-23-7765
FAX	0240-23-7765
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://katsurao-kosya.or.jp/
営業時間	2022年は2/21エントリー開始（4/15締切）、4/23・24に実施予定でしたが、延期しております。
定休日	—
料金	11kmコース クラス1・2・3 5,000円 個人TT11km（クラス1・2・3・4 共通）4,000円 28kmコース クラス1 6,000円 クラス2・3 5,000円 クラス4・女子・ジュニア 4,000円 2名交代リレー8,000円（1名4,000円）
駐車場	あり（村内公共施設等の駐車場を開放）
最寄駅からの交通手段 など	常磐自動車道（東京方面から）大熊ICより35分（仙台方面から）浪江ICより30分 磐越自動車道 船引三春ICより35分
体験メニュー	日本最高峰難度のコースで行われる自転車競技

観光資源の特徴
全国でも有数の難易度を誇る葛尾村村内1周メインコース28kmを走る。今回の大きな特徴としては、誰もが村内1周コースを楽しめるように 村内1周ピグナー限定の部を設けた。海外のジュニア・ピグナーレースのように前半16kmはペースで固定（追い抜き禁止で速度を保って集団走行）MOTO審判が合図してからリアルスタート。道路使用許可条件（先頭10分タイムアウト必須）をクリアしながら 本州で沖縄や北海道のようなラインレースに近い環境を楽しめる。



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

31~35 自然

田村市

基本情報	
資源名	31 古代亀石
実施主体（事業者等）	—
住所	福島県田村市都路町岩井沢字馬酔木沢
T E L	0247-81-8136（田村市産業部観光交流課）
FAX	
E-MAIL	
URL	
開催時期	—
定休日	
料金	
駐車場	3台
最寄駅からの交通手段など	JR磐越東線 船引駅より、タクシーで30分 または 常磐自動車道 常磐双葉ICより45分 磐越自動車道 船引三春ICより35分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
<p>亀の形をした巨石で、高さ10.7m、周囲50.5m、重量2,800t。実際に足を運んで実物を目の前で見た時の迫力ある存在感には驚かされる。「鶴は千年、亀は万年」の言葉にあやかり、無病息災を願ってこの亀石にしめ縄を張り崇拝したと言われている。石の上部には天狗が舞い降りた足跡があるとの言い伝えもある。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

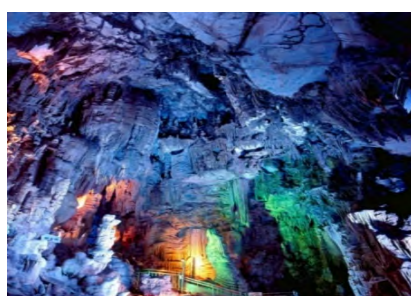
観光資源の基本情報フォーマット（個票）

31~35 自然

田村市

基本情報	
資源名	32 あぶくま洞・入水（いりみず）鍾乳洞
実施主体（事業者等）	あぶくま洞管理事務所、入水鍾乳洞管理事務所
住所	福島県田村市滝根町菅谷字東釜山1番地、福島県田村市滝根町菅谷大六89-3
T E L	あぶくま洞 0247-78-2125、入水鍾乳洞 0247-78-3393
FAX	あぶくま洞 0247-78-2127
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://abukumado.com/
営業時間	あぶくま洞 4/1~6/23 8:30~17:00、6/24~9/30 8:30~17:30、10/1~11/15 8:30~17:00、11/16~3/6 8:30~16:30、3/7~3/31 8:30~17:00 入水鍾乳洞 夏季(3月初旬~10月下旬)8:30~17:00、冬季(10月下旬~3月初旬)8:30~16:30
定休日	年中無休
料金	あぶくま洞 大人(高校生以上) 1200円 中人(中学生) 800円 小人(小学生) 600円 探検コース 一般料金に追加(団体割引なし) 200円 入水鍾乳洞 Aコース 大人(高校生以上) 600円、小人(小・中学生) 500円 Bコース 大人(高校生以上) 800円、小人(小・中学生) 600円 Cコース(完全予約制) 大人(5人まで) 6000円 ※ヘッドライト、合羽、短パン、サンダル レンタルあり
駐車場	あぶくま洞 バス30台、乗用車700台(無料)、入水鍾乳洞 80台(無料)
最寄駅からの交通手段など	あぶくま洞 JR磐越東線 神保駅より、タクシーで5分 入水鍾乳洞 JR磐越東線 菅谷駅より、タクシーで5分 または あぶくま洞・入水鍾乳洞 磐越自動車道 小野IC又は田村スマートICより15~20分
体験メニュー	見学、探検体験

観光資源の特徴
<p>悠久の歳月をかけて創られた大自然の造形美。 全長600mの洞内に、種類と数の多さでは東洋一ともいわれる鍾乳石が続くあぶくま洞。 したたり落ちる地下水が自らの溶食作用によって創りあげる様々な造形美にはそれぞれに名前が付けられ、訪れる人を魅了している。洞内最大のホール「滝根御殿」、日本の鍾乳洞で初めて舞台演出用の調光システムが導入された「月の世界」など見どころがいっぱいある。恋人の聖地として認定されている。 入水鍾乳洞は、本格的なケイビングの醍醐味が味わえる。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

31~35 自然

檜葉町

基本情報	
資源名	33 天神岬温泉しおかぜ荘
実施主体（事業者等）	一般財団法人檜葉町振興公社
住所	福島県双葉郡檜葉町大字北田字上ノ原27-29
TEL	0240-25-5726
FAX	—
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	http://naraha-tenjin.net/enjoy/hot-spring
営業時間	10:00~21:00（最終受付 20:30） 木曜日 15:30~21:00
定休日	毎週木曜日 10:00~15:30（風呂掃除のため）
料金	入浴 大人（中学生以上）700円 小人（小学生）300円 休憩入浴（大広間・レストルーム利用・浴衣・タオルセット貸出含む） 大人（中学生以上）1,200円 小人（小学生）600円
駐車場	50台 無料
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 竜田駅より、徒歩20分 または 常磐自動車道 ならはスマートICより10分
体験メニュー	温泉

観光資源の特徴

天神岬スポーツ公園内の施設で檜葉町サイクリングターミナルに隣接している。太平洋を眺めながらの温泉浴は、心もからだもフレッシュできる。

黄金色のしっとりとした塩化物泉、源泉100%、旅の疲れを癒してくれ、また皮膚病、神経痛に特に適応すると大好評。スポーツで汗を流した後などにも、気軽に利用できる。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

31~35 自然

富岡町

基本情報	
資源名	34 夜の森（よのもり）の桜並木
実施主体（事業者等）	富岡町役場産業振興課 商工観光係
住所	福島県双葉郡富岡町字夜の森北2丁目
T E L	0240-22-2111
FAX	0240-22-0899
E-MAIL	tom0600-001@tomioka-town.jp
URL	—
営業時間	4月上中旬
定休日	—
料金	—
駐車場	臨時駐車場あり
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 夜の森駅より、徒歩で5分 または 常磐自動車道 常磐富岡ICより5分
体験メニュー	—

観光資源の特徴
富岡町の誇りの桜並木。樹齢80年以上の木も多く、始まりは明治時代の植樹に由来。福島県を代表する桜の名所。富岡駅から約4km、夜ノ森駅から約1km。全長2.2kmにわたり420本が植えられ、現在は800m・190本のみ観桜可能。樹種はソメイヨシノなどで、夜の森地区全体で1200本の桜がある。道路を通行することはできる。令和5年に帰宅困難区域解除の予定。



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

31~35 自然

飯館村

基本情報	
資源名	35 星空ツアーと郷土料理
実施主体（事業者等）	あぶくまロマンチック街道構想推進協議会
住所	—
TEL	—
FAX	—
E-MAIL	—
URL	https://abukuma-r.jp/
営業時間	毎年7月～8月及び1月～2月の夏冬開催 (ツアーへのお申し込みは、上記URLで約1～2ヶ月前から実施)
定休日	—
料金	3,000～6,000円
駐車場	—
最寄駅からの交通手段	—
体験メニュー	星空観察、天文講座、プラネタリウム、郷土料理づくり体験、自然体験等

観光資源の特徴
あぶくまロマンチック街道構想推進協議会が主催する星空ツアー。星空観察や天文講座、バーベキューや木工体験ができる1泊2日のツアー。 あぶくまロマンチック街道構想推進協議会は、国道399号線でつながる5市町村、飯館村、浪江町津島、葛尾村、田村市都路、川内村の元気を発信している。

POINT 1 星空と天文
宇宙が身近に感じられる天文観望台。最新型プラネタリウムも上映します。星空の輝きを堪能できる会場です。

POINT 2 お正月遊び
高麗/獅子舞・提灯/凧で楽しむお正月遊び。自分たちで作った提灯・凧が空を舞う姿がとっても美しいです。

POINT 3 里山散策
自然の中を歩くと、心が癒やされます。季節の移り変わりを感じながら、美しい自然を堪能してください。

■ 宿泊
飯館村観光センター
〒979-0101 福島県飯館村飯館1-1-1
TEL 0246-84-1111
電話受付 午前9時～午後5時

■ タイムスケジュール
1月30日(土) 12:00 受付開始
13:00 天文観望台
14:00 提灯作り
15:00 凧作り
16:00 夕食
17:00 星空観望
18:00 天文観望
19:00 解散

■ 1月31日(日)
7:00 起床
8:00 朝食
9:00 提灯作り
10:00 凧作り
11:00 昼食
12:00 天文観望
13:00 解散

あぶくまとは? <https://abukuma-r.jp>

夜の地面に輝くように灯る1万本の竹灯りがシンガルの「那智灯まつり」。竹灯りと星の光はまさに絶景。星空ナビゲーター杉中さんのお話を聞きながら、夏の思い出をプレゼントします。
※雨天決行ですが、星空は見えない場合があります。

◎ 会場・宿泊
グリーンパーク飯館
福島県飯館村中野町飯館1-1-1
★駐車場
グリーンパーク飯館オートキャンプ場(無料)
(福島県飯館村中野町飯館1-1-1)

◎ タイムスケジュール
★8月3日(土)
14:00 受付開始
15:00 星空ナビゲーターの講話
16:00 星空観望
17:00 夕食
18:00 星空観望
19:00 解散
★8月4日(日)
7:00 起床
8:00 朝食
9:00 星空観望
10:00 解散

あぶくまとは?
国産399号線が通る自然豊かな飯館村。あぶくまロマンチック街道構想推進協議会が、あぶくまの魅力を発信しています。
<https://abukuma-r.jp>

◎ 応募期間: 8月1日～8月10日
◎ 募集人数: 20名
◎ 申し込み締切日: 2019年7月10日
◎ お申し込みは、飯館村のホームページからお願いします。

↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

南相馬市

基本情報	
資源名	36 福島ロボットテストフィールド
実施主体（事業者等）	公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
住所	福島県南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番 南相馬市復興工業団地内
T E L	0244-25-2473
FAX	—
E-MAIL	robot1@fipo.or.jp 見学のお申し込みは、 https://www.fipo.or.jp/robot/tour-guide/tour_procedure まで
URL	https://www.fipo.or.jp/robot/
営業時間	9:00～17:00（受付時間）
定休日	土日祝日・年末年始
料金	施設・設備の使用料については管理者に要問い合わせ
駐車場	あり（駐車可能台数 普通車；57台、大型車4台）
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 原ノ町駅より、タクシーで10分 または 常磐自動車道 南相馬ICより20分
体験メニュー	見学

観光資源の特徴

福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された「福島ロボットテストフィールド（RTF）」は、陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点であり、インフラや災害現場など実際の使用環境を再現し、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設である。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

檜葉町

基本情報	
資源名	37 過去を振り返り 未来を語る 復興の歩み
実施主体（事業者等）	一般社団法人ならはみらい
住所	福島県双葉郡檜葉町 大字北田字中満260番地 みんなの交流館 ならはCANvas 内
TEL	0240-23-6771
FAX	0240-23-6772
E-MAIL	ホームページにガイド・語り部へのお申し込みフォーム、お問い合わせフォームあり
URL	https://narahamirai.com/togonaraha/
営業時間	平日 9:00 ~ 17:00
定休日	土日祝日・年末年始
料金	ガイド料：5,500円/1回（1名手配につき）、参加費：300円/1名 例）参加者10名で、1名のガイドをお申し込みの場合 5,500円+（300円×10名）=8,500円 語り部60分：7,500円（*但し、視察案内と併せてお申し込みの場合は、1,000円引） ※（町外で実費交通費及び宿泊費ご負担により、出張語り部も可能。
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 竜田駅より、徒歩で20分 または 常磐自動車道 檜葉スマートICより5分
体験メニュー	<1時間半コース例> みんなの交流館ならはCANvas集合→みるーる天神（下車説明）→津波被災エリア通過→Jヴィレッジ（下車説明）→檜葉遠隔開発技術センター（車中説明）→みんなの交流館ならはCANvas（下車説明）解散 ※1時間半コースが基本のコースとなります。 ※概ね1~2時間程度の中で、ご希望に合わせたコース設定も可能です。お気軽にお問い合わせください。

観光資源の特徴

東日本大震災に伴う原発事故によって変わってしまった檜葉町の様子や復興へ向けて前に進んでいる姿をふるさと案内人がお話する、町民による町内視察案内ガイド。震災に関する自身の体験に基づいた語り部の活動。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

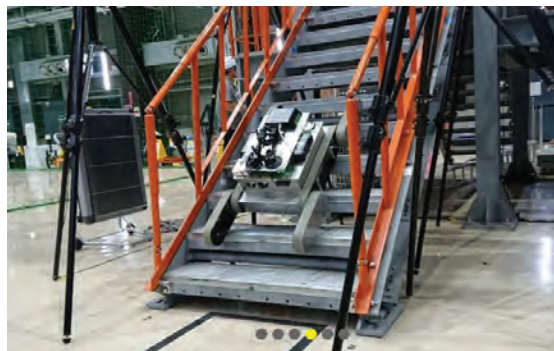
観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

檜葉町

基本情報	
資源名	38 檜葉遠隔技術開発センター
実施主体（事業者等）	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
住所	福島県双葉郡檜葉町大字山田岡字仲丸1-22
T E L	0240-26-1040
FAX	0240-26-1041
E-MAIL	naraha-mockup@jaea.go.jp
URL	https://naraha.jaea.go.jp
営業時間	9:00～17:30
定休日	土日、祝祭日、年末年始
料金	見学：無料（2週間前までに見学申込書をご提出ください。詳しくはHPをご参照ください。） 施設利用：有料（施設利用料金についてはHPをご参照ください）
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段	JR常磐線 木戸駅 車（タクシー要予約）で5分 または 常磐自動車道 広野ICより5分
体験メニュー	VR体験

観光資源の特徴
<p>東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所の廃炉推進のために遠隔操作機器（ロボット等）の開発実証施設として整備され、2016年4月より外部利用を開始している。</p> <p>研究管理棟と試験棟で構成され、研究管理棟は、廃炉作業の作業計画検討や作業者訓練等に活用可能なバーチャルリアリティシステム、ロボットシミュレータ、音響映像設備を備える多目的室等がある。ロボットの遠隔技術や原子炉建屋内の一部を再現したVRを体験し、最先端の廃炉技術を見学することができる。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

富岡町

基本情報	
資源名	39 NPO法人 富岡町3.11を語る会
実施主体（事業者等）	特定非営利活動法人富岡町3.11を語る会
住所	福島県郡山市長者一丁目7番17号さくらビル3階302-2号室
TEL	0240-23-5431 (担当：ムナカタ様) ツアーや口演のお申し込みは、 http://www.tomioka311.com/active.html#anchor1 よりお願いいたします。
FAX	0240-23-5431
E-MAIL	kataribe_sakura@tomioka311.com (担当：ムナカタ様)
URL	http://www.tomioka311.com/
営業時間	平日 9:00~16:00
定休日	土日、祝祭日
料金	ガイド料 1時間~2時間 10000円~ 講演料 :一律 交通費：一律 2000円 資料冊子代：1部 500円 口演 会場：人の駅 桜風舎 口演料1時間以内 5000円 2時間以上 10000円 (50名以上) 資料冊子代：1部500円 ※受講者分お求めいただけます。
駐車場	—
最寄駅からの交通手段	—
体験メニュー	バスや車1台につき1名のガイドが同乗するツアー、口演（出張費ご負担で出張口演、あるいはZOOMによるオンライン口演あり）

観光資源の特徴
震災からの避難体験を町民自らの言葉で語り、復興が始まったばかりの福島と富岡町を語り伝えている。出張対応可能。さくらモールとみおか内に事務所がある。

【プラン A】

	内容	所要時間	料金	支払い方法	申し込み	注意事項
ツアーガイド	富岡町内を実際にご案内し、ながら、震災当時の様子や現在の様子をお伝えします。 バスや車1台につき、1名のガイドが同乗いたします。	約120分	【ガイド料】 10,000円	振り込み OR 当日現金	1週間前までにお申し込みください。	
			【交通料】 3,000円			
			【資料冊子】 500円×参加人数 ※資料冊子について学校教育団体様についてはクラス数分			

【プラン B ①、②】

	内容	所要時間	料金	支払い方法	申し込み	注意事項
口 演	① 出張口演 ご指定の口演会場まで語り人がむかいます。パワーポイントを用いて震災体験や富岡町の様子などをお話します。	約60分	【口演料】 (1)1時間以内・50名以下 5,000円 (2)1時間以上2時間以内・50名以上 10,000円 (1)(2)の条件が重なる場合は、(2)の料金になります。	振り込み OR 当日現金	1週間前までにお申し込みください。	○出張口演について早朝・深夜の場合口演者の宿泊費をいただく場合があります。宿泊費：5,000円 ○オンライン口演 ZOOMのリンクはご依頼主様にご用意願います。
	② オンライン口演 ZOOMを使用して口演を行います。パワーポイントを画面共有しながら震災体験や富岡町の様子などをお話します。	約120分	【交通料】 3,000円 ※出張口演の場合は、会場までの交通費は実費分いただけます。 【資料冊子】 500円×参加人数 ※資料冊子について学校教育団体様についてはクラス数分			

↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

富岡町

基本情報	
資源名	40 東京電力廃炉資料館
実施主体（事業者等）	東京電力ホールディングス株式会社
住所	福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央378
TEL	0120-502-957 【見学ご予約受付フリーダイヤル電話番号】
FAX	—
E-MAIL	—
URL	https://www.tepco.co.jp/fukushima_hq/decommissioning_ac/
営業時間	9：30～16：30
定休日	毎月第3日曜日 および年末年始
料金	無料 ※要事前予約
駐車場	あり 無料
最寄駅からの交通手段	JR常磐線 富岡駅より、徒歩で15分 または 常磐自動車道（東京方面から）榎葉スマートICより15分 （仙台方面から）常磐富岡ICより10分
体験メニュー	見学（時間指定の60分コース又は90分コース。各回7名程度）

観光資源の特徴
原子力事故の記憶と記録を残し、二度とこのような事故を起こさないための反省と教訓を社内外に伝承することは、当社が果たすべき責任の一つである。長期にわたる膨大な廃炉事業の全容が見える化し、その進捗をわかりやすく発信することは、国内外の英知の結集と努力を継続させていくうえでも大切である。関係施設及び周辺地域などと連携を取りながら、原子力事故を後世にお伝えしていくと共に、復興に向けた皆様の安心につながるよう努めていく。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

双葉町

基本情報	
資源名	41 東日本大震災・原子力災害伝承館
実施主体（事業者等）	公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
住所	福島県双葉郡双葉町大字中野高田39
T E L	0240-23-4402
FAX	0240-23-4403
E-MAIL	archive@fipo.or.jp
URL	https://www.fipo.or.jp/lore/
営業時間	9:00～17:00（最終入館16:30）
定休日	火曜日（火曜祝日の場合は翌平日）・年末年始（12/29～1/3）
料金	〔展示入館料〕 大人：600円 小人：300円 大人団体(20名以上)：480円 小中高団体（20名以上）：240円
駐車場	一般車110台、大型バス10台
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 双葉駅より、バスで5分 または 常磐自動車道 常磐双葉ICから12分
体験メニュー	◆体験メニュー ・語り部講話40分 ・フィールドワーク60分 ・ワークショップ60分 ※研修料別途（語り部講話は、ホームページで時間をご確認ください） （各プログラム 一般1,000円/1人 小中高生500円/1人）

観光資源の特徴
<p>東日本大震災と原発事故。複合災害の記録と記憶を後世に伝えるとともに、復興に向けて力強く進む福島県の姿や国内外からの支援に対する感謝の思いを発信しつつ、福島にしかない原子力災害の経験と教訓を生かす防災・減災などをテーマとした施設の整備を進めている。展示物と映像から当時の大規模災害の状況とその後の復興と廃炉の過程を学ぶことができる。東日本大震災や原子力災害で被災した施設や復興の状況を実際に間近で見ること、被災地を体感できる。語り部の生の声を聞き、記録・経験・教訓を次の世代へと引き継ぐことを目指している。館内にはアテンダントが在中している。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

浪江町

基本情報	
資源名	42 浪江町震災学習体験フィールドワーク
実施主体（事業者等）	一般社団法人まちづくりなみえ
住所	福島県双葉郡浪江町大字権現堂字塚越2-10
TEL	0240-23-7530
FAX	0240-23-7531
E-MAIL	info@mdnamie.jp
URL	http://www.mdnamie.jp/
営業時間	9:00~18:00
定休日	水曜日・日曜日
料金	フィールドワーク ※お問合せください 請戸小学校の入館料 300円（一般） 200円（高校生） 100円（小中学生）
駐車場	請戸小学校、大平山霊園ともに有り
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 浪江駅より徒歩0分 または 常磐自動車道 浪江ICより10分
体験メニュー	町内視察：浪江駅（又は道の駅なみえ）⇒津波被災地（請戸小学校・大平山霊園）⇒浪江駅（又は道の駅なみえ） その他、視察希望内容・対応時間をご相談しながらオーダーメイド可能

観光資源の特徴
<p>今なお被災当時の様子がほぼそのまま残っている請戸小学校。東日本大震災による津波で甚大な被害を受けたが2020年4月に9年ぶりに競りが再開した請戸漁港。町の交流情報発信拠点として令和2年8月1日開所した道の駅なみえなど浪江町内を歩く、見て聞いて考えるフィールド学習を体験することにより、ありのままの姿と復興に挑戦し続ける人々との対話を通して、未来にどう活かすかを考えるきっかけを得ることができる。</p>



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

葛尾村

基本情報	
資源名	43 葛尾村復興交流館あぜりあ
実施主体（事業者等）	一般社団法人葛尾むらづくり公社
住所	福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合20-1
TEL	0240-23-7765
FAX	0240-23-7765
E-MAIL	下記サイトのお問い合わせ先へ
URL	https://katsurao-kosya.or.jp/
営業時間	9:00~17:00
定休日	火曜
料金	—
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段など	JR磐越東線 船引駅より、バスで60分 または 常磐自動車道 浪江ICより30分 磐越自動車道（いわき方面から）田村スマートICより40分 （郡山方面から）船引三春より40分
体験メニュー	葛尾村の物産（凍み餅、生餅、豆菓子、そばなど）の販売、村の観光案内

観光資源の特徴

葛尾村復興のシンボルとして、2018年6月に開所した交流施設。葛尾村を知っていただくための入り口となる施設として、憩いの場、村に関する様々な情報を提供している。



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

富岡町

基本情報	
資源名	44 とみおかアーカイブ・ミュージアム
実施主体（事業者等）	富岡町役場
住所	福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚760-1
T E L	0120-502-957
FAX	—
E-MAIL	—
URL（SNS）	https://www.facebook.com/TheHistoricalArchiveMuseumOfTomioka
営業時間	9:00~17:00（入館16:30）
定休日	月曜（祝日の場合は火曜）、年末年始
料金	無料
駐車場	有り 無料 館前16台、隣接施設併用100台、大型バス2台
最寄駅からの交通手段など	JR常磐線 富岡駅より、徒歩で15分 または 常磐自動車道 常磐富岡ICより10分
体験メニュー	見学

観光資源の特徴
<p>2021年7月11日（日）にオープンした町の成り立ちと複合災害がもたらした地域の変化を後世に伝える施設。館内は、体験や情報発信を中心としたタウンギャラリー、地域の特徴や震災遺産と原発事故の経験・教訓を伝える常設・企画の二つの展示室、そして約5万点にのぼる収蔵資料のメンテナンス・整理保管を行う収蔵庫、と大きく三つのエリアに分かれている。</p> <p>それぞれの土地で、ふるさとに心を寄せ続けてきた町民の生活・地域資料を保存し、突然奪われた「当たり前」の日常」を展示することにより、町の歴史や人々の暮らしと併せて、自然災害や原発事故の経験を未来に継承する施設となっている。</p>



↓ 下のアイコンをクリックすると、先頭の観光資源マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

36~45 復興

浪江町

基本情報	
資源名	45 震災遺構 請戸小学校
実施主体（事業者等）	浪江町教育委員会事務局 郷土文化係
住所	福島県双葉郡浪江町大字権現堂字塚越2-10
TEL	浪江町教育委員会事務局 郷土文化係（団体見学、教育旅行、取材撮影などのお申し込み・事前相談）0240-23-5601 ※今日の空き状況などは震災遺構 浪江町立請戸小学校 0240-23-7041
FAX	0240-23-5602
E-MAIL	以下のホームページにお問い合わせフォームあり（一番下）
URL（浪江町HP）	https://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/12/29757
営業時間	9：30～16：30（最終入館16：00まで）
定休日	火曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始（12月28日～1月4日まで）
料金	入館料 個人 300円（一般） 200円（高校生） 100円（小中学生） 団体 250円（一般） 150円（高校生） 50円（小中学生）
駐車場	有り 駐車可能台数：普通車20台／大型バス5台／身障者用2台
最寄駅からの交通手段など	JR常磐線 浪江駅より、タクシーで15分 または 常磐自動車道（東京方面から）常磐双葉ICより15分（仙台方面から）浪江ICより15分
体験メニュー	見学

観光資源の特徴

2011年3月11日の東日本大震災の脅威や教訓とともに地域の記憶や記録を後世に伝え、防災意識の向上を図るため、被災した町立請戸小学校を震災遺構として一般公開している。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

46~52 物産

南相馬市

基本情報	
資源名	46 道の駅南相馬
実施主体（事業者等）	株式会社野馬追の里
住所	福島県南相馬市原町区高見町2丁目30-1
T E L	0244-26-5100
FAX	0244-26-5101
E-MAIL	info@nomaoinosato.co.jp
URL	http://www.nomaoinosato.co.jp/
営業時間	物産館午前9時00分～午後6時00分、レストラン午前11時00分～午後3時30分
定休日	年中無休
料金	—
駐車場	大型車17台、普通車68台、身障者用3台、駐輪場2箇所
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 原ノ町駅より、徒歩で20分 または 常磐自動車道 南相馬ICより15分
体験メニュー	地元特産品購入、お食事

観光資源の特徴
南相馬市の特産品、お土産、農産物を数多く販売し、レストランメニューにも地場食材を用いたメニューを多く提供している。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

46~52 物産

川俣町

基本情報	
資源名	47 かわまた銘品館シルクピア
実施主体（事業者等）	株式会社川俣町農業振興公社
住所	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東13-1
TEL	024-566-5253
FAX	024-566-5317
E-MAIL	silkpia@kawamata-shamo.com
URL	https://www.town.kawamata.lg.jp/site/kanko-event/silkpia-meihinkan.html
営業時間	9:00～18:00（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、開館時間9:00～17:00）
定休日	12月30日午後3時から1月1日まで
料金	入場 無料
駐車場	普通車（53台）、大型車（11台）、障がい者専用（3台）
最寄駅からの交通手段 など	JR東北本線 松川駅より、タクシーで20分 または 東北自動車道 松川スマートICより25分
体験メニュー	絹織物や川俣村物産の販売、隣の レストラン「shamoll」 で川俣シャモ料理（個票22）堪能

観光資源の特徴
かわまた銘品館シルクピアは、1992年にオープン、川俣の絹織物、工芸品、牛乳・乳製品、ヘルシーな川俣シャモ等銘品の数々を紹介するとともに展示・販売をしている。この施設は、町のイベントや観光情報、道路情報を提供し、ドライバーの休憩場所として、また、人と人、人と地域の交流の拠点となっている。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

46~52 物産

檜葉町

基本情報	
資源名	48 道の駅ならば
実施主体（事業者等）	一般財団法人檜葉町振興公社
住所	福島県双葉郡檜葉町大字山田岡字大堤入22-1
T E L	0240-26-1126
FAX	—
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	http://www.michinoeki-naraha.jp/
営業時間	物産館9：00～18：00 温泉施設10：00～21：00最終受付20：30 フードコート11：00～20：00 最終受付19：30
定休日	無休(但し、2回機械点検の為臨時休館あり)
料金	【入浴料金】・大人 700円（中学生以上、入湯税、消費税込） ・小人 300円（小学生、消費税込、小学生未満は無料）
駐車場	大型：17台 普通車：132台 身障者用：5台
最寄駅からの交通手段	JR常磐線 木戸駅より、徒歩で15分 または 常磐自動車道（東京方面から）広野ICより5分、 （仙台方面から）ならばスマートICより10分
体験メニュー	地元特産品購入、お食事（檜葉名物マミーすいとんあり）、温泉入浴

観光資源の特徴
<p>「道の駅ならば」の温泉施設の1階は、フードコート、キッズコーナー等があり、2階には疲れを癒す日帰り温泉がある。県内の様々なお土産や地域特産品を約2000種類取りそろえている物産館が併設されている。フードコートでは、特産料理「マミーすいとん」を食べることができる。</p> <p>震災後、物産館は一時、双葉署の臨時庁舎となっていた。外壁にひびが入るなど被害も大きかったため、町が復旧を進めていた。道の駅ならばの温泉施設は2019年4月に再開し、2020年6月に物産館が再開した。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

46~52 物産

双葉町

基本情報	
資源名	49 双葉町産業交流センター【F-BICC（エフビック）】
実施主体（事業者等）	（指定管理者）福島クリエイティブ共同事業体
住所	福島県双葉郡双葉町大字中野字高田1番地1
T E L	0240-23-7212
FAX	0240-23-7213
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://www.f-bicc.jp
営業時間	9:00～18:00
定休日	年末年始（12/29～1/3）
料金	貸会議室あり。料金はホームページ参照
駐車場	約260台（大型バス可）
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 双葉駅より、シャトルバス5分 または 常磐自動車道 常磐双葉ICより10分
体験メニュー	お食事、物産

観光資源の特徴
<p>令和2年3月に避難指示が解除された中野地区に同年10月にオープンした施設。</p> <p>「東日本大震災・原子力災害伝承館」や「復興祈念公園」に訪れる方等、双葉町を訪れる方の利便性の向上や復興に向けて人の交流を生む拠点となっており、貸会議室やレストラン、フードコート、土産物店等の商業施設が入る複合施設となっている。</p> <p>フードコート内には地元の方に親しまれていたファストフード店「ペンギン」が震災後復活し、ハンバーガーやソフトクリームを提供しています。また、B-1グランプリで有名ななみえ焼そばをはじめとした麺類を提供する「せんだん亭」が営業している。</p> <p>産業交流センターには屋上展望台があり、双葉町内の復興が少しずつ進んでいる姿が一望できるビュースポットとなっております。双葉駅からシャトルバスの運行をしているほか、シェアサイクルの利用もできる。</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

46~52 物産

浪江町

基本情報	
資源名	50 道の駅なみえ
実施主体（事業者等）	一般社団法人まちづくりなみえ
住所	福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字知命寺60
TEL	0240-23-7121
FAX	—
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://michinoeki-namie.jp/
営業時間	10:00~18:00
定休日	毎週水曜日
料金	体験メニュー参照
駐車場	小型車：103台、大型車：22台、障がい者用：3台
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 浪江駅より、徒歩で15分 または 常磐自動車道 浪江ICより10分
体験メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・お食事、物産品販売、全国初のポケモンラッキー公園（無料） ・酒蔵コーナー 銘酒「磐城壽（いわきことぶき）」（鈴木酒造） 酒造り見学、セルフ試飲コーナー（5杯）500円～ ・大堀相馬焼コーナー 大堀相馬焼の陶芸体験教室 1,760円～ 1日4人まで ※3日前までに要予約（0240-35-4917）

観光資源の特徴

浪江町の復興のシンボルとして、2021年3月20日にグランドオープン。本館のフードコートでは、魚介たっぷりの海鮮丼やご当地グルメ「なみえ焼そば」を堪能できるほか、道の駅への出店は全国初となる「無印良品」、新鮮野菜や海産物、加工品や手芸品など、多彩な商品を取り揃えている。また、なみえの技・なりわい館では、「磐城壽」の製造過程の見学や、日本酒をワンコインで飲み比べたりできるほか、大堀相馬焼の陶芸体験なども楽しめる。

最近では、全国初となるポケモンでいっぱいの「ラッキー公園 in なみえまち」が開園し、子どもたちに大人気。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

46~52 物産

南相馬市

基本情報	
資源名	51 セデッテかしま
実施主体（事業者等）	株式会社野馬追の里
住所	福島県南相馬市鹿島区浮田字椴木沢 212-1
T E L	0244-26-4822
FAX	—
E-MAIL	—
URL	http://sedette.jp/
営業時間	営業時間 8:00~20:00、お食事処営業時間 10:30~19:00 ラストオーダー
定休日	年中無休
料金	—
駐車場	高速道路利用者専用 普通39台・大型25台、一般道利用者専用 普通42台・大型4台
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 鹿島駅より、タクシーで10分 または 常磐自動車道 南相馬鹿島サービスエリア内（スマートICあり）
体験メニュー	物産（野馬追グッズほか）、お食事、ドッグラン

観光資源の特徴

「南相馬鹿島サービスエリア」に隣接する市の施設で、相馬地方の方言で「連れてって」を語源とする観光交流施設である。お食事のほか、地域の特産物や野馬追グッズの販売、様々な情報の発信を行っている。一般道からの利用も可能である。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

46~52 物産

飯舘村

基本情報	
資源名	52 いいたて村の道の駅までい館
実施主体（事業者等）	株式会社までいガーデンビレッジいいたて
住所	福島県相馬郡飯舘村深谷字深谷前12-1
T E L	0244-42-1080
FAX	0244-42-1085
E-MAIL	—
URL	http://madeikan.com/
営業時間	9：30～17：00（11月～2月） 9：30～18：00（3月～10月）
定休日	水曜
料金	—
駐車場	小型車用 49台 ・大型車 7台 ・車いす用 2台 ・電気自動車急速充電用 1台
最寄駅からの交通手段	JR東北本線 福島駅から、バスで70分 または 常磐自動車道 南相馬ICより30分 又は 東北中央自動車道 霊山飯舘ICより20分
体験メニュー	物産、お食事、ちびっこ広場、ドッグラン

観光資源の特徴
杉材の温かさと花が彩るガラスの空間が特徴の交流施設である。花や野菜の直売、お土産、軽食のコーナーの他、コンビニも設置されている。



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

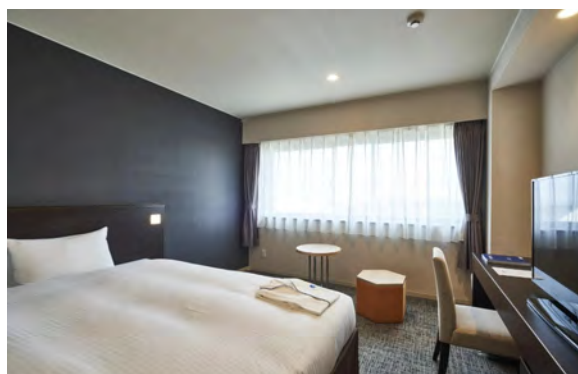
観光資源の基本情報フォーマット（個票）

53~55 宿泊

檜葉町・広野町

基本情報	
資源名	53 J-VILLAGE
実施主体（事業者等）	株式会社Jヴィレッジ
住所	福島県双葉郡檜葉町大字山田岡字美シ森8番
T E L	0240-26-0111
FAX	—
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	https://j-village.jp/
営業時間	24時間
定休日	年中無休
料金	ホテル宿泊 1名 6,930円（素泊まり）～ 16,830円（1泊2食付） フィットネスジム 大人 1日 2,200円
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 木戸駅より、徒歩15分 または 常磐自動車道 広野ICより5分
体験メニュー	宿泊、大浴場、スポーツ、スポーツジム、お食事、会議 等

観光資源の特徴
<p>サッカーのナショナルトレーニングセンターである。震災後、原発事故の対応拠点となり、一時休業していたが、2019年4月より施設が全面再開。観客席付スタジアムを含め天然ピッチ8面、人工芝ピッチ2面、雨天練習場、ホテル（総客室数200）、フィットネスジム、アリーナ、プールなどを備えており、サッカー以外の一般観光客の利用も可能である。2021年東京五輪の聖火リレーの出発式の会場となった。</p> <p>【客室数】 シングル90室・ツイン60室・フォース38室・その他12室（合計200室）</p>



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

観光資源の基本情報フォーマット（個票）

53~55 宿泊

檜葉町

基本情報	
資源名	54 展望の宿 天神（てんじん）
実施主体（事業者等）	一般財団法人 檜葉町振興公社
住所	福島県双葉郡檜葉町大字北田字上ノ原27-29
TEL	0240-25-3113
FAX	0240-25-5744
E-MAIL	ホームページにお問い合わせフォームあり
URL	http://naraha-tenjin.net/stay/hotel
営業時間	24時間
定休日	年中無休
料金	宿泊 大人1名 8,800~17,100円（洋室、和室、コテージ、ロッジあり）
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段 など	JR常磐線 竜田駅より、徒歩20分 または 常磐自動車道 ならばスマートICより10分
体験メニュー	宿泊、お食事、キャンプ、オートキャンプ、サイクリングなど 天神岬スポーツ公園内に温泉施設「天神岬温泉 しおかぜ荘」あり

観光資源の特徴
天神岬スポーツ公園内の施設で檜葉町サイクリングターミナルと同じ建物に入っている。「展望の宿 天神」は、全室海向きで太平洋が一望できる、爽快な景色が楽しめる宿泊施設である。 【客室数】 ツイン11室・和室8室（合計19室）、コテージ2棟（4～8名/1棟）、ロッジ1棟（10～26名）



↓ 下のアイコンをクリック
すると、先頭の観光資源
マップに戻ります。

2022年9月末時点

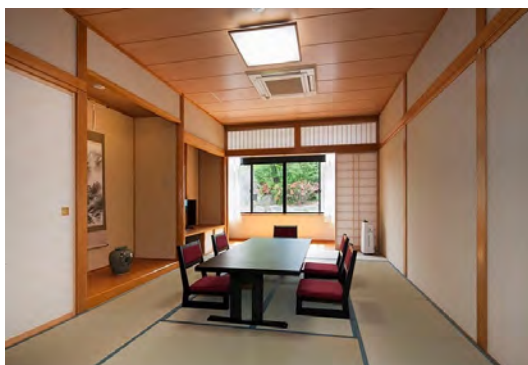
観光資源の基本情報フォーマット（個票）

53~55 宿泊

浪江町

基本情報	
資源名	55 福島いこいの村なみえ
実施主体（事業者等）	一般財団法人福島なみえ勤労福祉事業団
住所	福島県双葉郡浪江町大字高瀬字丈六10
T E L	0240-34-6161
FAX	0240-24-0303
E-MAIL	—
URL	https://www.ikoi-namie.com/
営業時間	日帰り入浴 10：00～22：00 最終受付21：30
定休日	休館日 毎月第四火曜日 日帰り入浴の休み：第2(15時以降入浴可)・第4火曜日
料金	日帰り入浴 大人500円 小人300円 宿泊 大人1名 7500円～ BBQコンロ 大 5,000円、小 3,000円（食材と燃料は、お客様がご用意ください）
駐車場	あり
最寄駅からの交通手段	JR常磐線 浪江駅より、バスで10分 または 常磐自動車道 浪江ICより15分
体験メニュー	宿泊、入浴、BBQ、パーティ・ご宴会、お食事、会議 等

観光資源の特徴
<p>震災後の8年目となる2018年6月に再開した公共の宿。宿泊棟の一部が地震等の影響で減築となり、それに代わる宿泊棟として、町外での避難生活で活用していたログタイプの仮設住宅をコテージとして移築。このコテージは、廃棄物になる予定であったが、木材の再利用が可能であったため、町からの強い要望により再利用が実現。</p> <p>震災前から、くつろぎ・集いの場として活用されてきた施設周辺は、緑に囲まれ、どこか懐かしく、温かさを感じられるふるさとの宿である。令和3年に新管理棟が完成、レストランがオープンし、震災前に評判だった料理も提供できるようになった。また、屋外でバーベキューをお楽しみいただくことも可能。</p> <p>【客室数】 和室12帖4名部屋6室 和洋室20帖5名部屋2室 コテージ12帖1名部屋3室（うち1室特別室） 18帖3名部屋14室 24帖5名部屋3室</p>



観光資源マップ（先頭ページ）
に戻る（→ [クリック](#)）

モデルコースの紹介

※ ページ番号の行をクリックすると、該当ページに飛びます。

モデルコース A	相馬野馬追祭り	57
モデルコース B	相馬野馬追（祭り以外の時期）と復興	62
モデルコース C	郷土料理と新たな食	67
モデルコース D	知られざる福島、浜通り探訪	72
モデルコース E	夏休み親子教室	77
モデルコース F	マラソン大会	81

※ 各ページより、本ページ（モデルコースストップページ）に戻るには、しおり機能をご使用になるのが便利です。
（左隅真ん中の▶マークをクリックし、しおりマークをクリックしてください。）

モデルコース A 相馬野馬追祭り

① コースの特徴

コース紹介

浜通りの伝統文化と今を知る旅

一千年以上の伝統を持つ相馬野馬追の祭りを実際に見ることにより、その伝統や文化を探求します。また、山津見神社の復元された天井絵を鑑賞し、震災の記録を東日本大震災・原子力災害伝承館で振り返るとともに、名物なみえ焼きそばや請戸漁港の再開によるしらす丼などを味わうことから浜通りの今を感じます。

ターゲット

歴史好きなど知的好奇心の高いシニア夫婦

② 行程

< 1日目：2022年は、7月23日(土) >

- 9:30 ○ 福島駅
- 10:30 ○ 山津見神社
(30分)
- 11:00 ○ 道の駅なみえ (昼食・買い物)
(30分)
- 12:00 ○ 東日本大震災・原子力災害伝承館
(90分)
- 14:00 ○ 産業交流センター (休憩・買い物)
(30分)
- 16:00 ○ とみおかアーカイブ・ミュージアム
(30分)
- 17:00 ○ J-VILLAGE (宿泊)

< 2日目：2022年は、7月24日(日) >

- 8:00 ○ J-VELLAGE
- 9:30 ○ ^{ひばり}雲雀ヶ丘祭場 (お行列)
(90分)
- 12:00 ○ ^{かつちゅう}甲冑競馬 (御弁当を観覧席で。暑い方は、車内で。) ※団体観覧席は5月に予約が必要
(60分)
- 13:00 ○ ^{しんき}神旗争奪戦
(90分)
- 15:30 ○ セデッテ鹿島 (休憩・買い物) [代替案] いいたて村の道の駅までい館
(30分) 道の駅南相馬
- 18:00 ○ 福島駅

③ コースの立ち寄り箇所概要

< 1日目 >

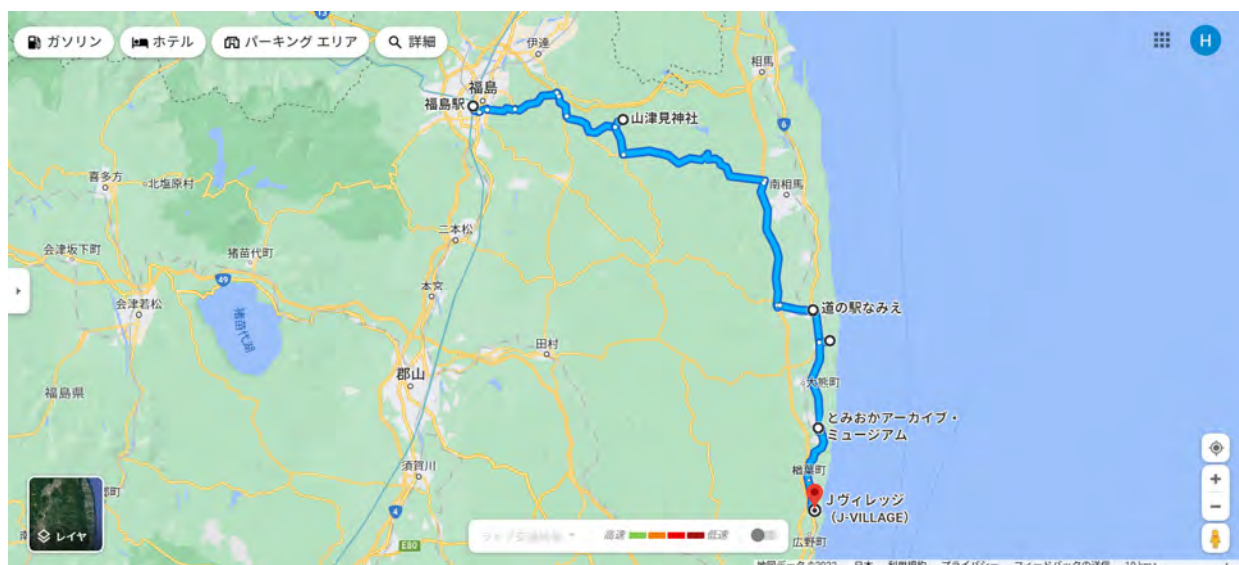


図 1日目の経路

福島駅 発

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

山津見神社

全国的にも珍しいオオカミ信仰の神社で、200枚を超えるオオカミが描かれた天井画で知られていましたが、原発事故により避難していた2013年4月の火災で消失してしまいました。しかし、写真をもとに、東京芸術大学の学生たちによって天井画が復元され、再建された拝殿に納められています。

見学のほか、事前予約することで権禰宜から説明いただくことも可能です。御守りを販売する自動販売機もあります。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

道の駅なみえ

浪江町の復興のシンボルとして、2021年3月20日にグランドオープンしました。本館のフードコートでは、魚介たっぷりの海鮮丼やご当地グルメ「なみえ焼そば」を堪能できるほか、道の駅への出店は全国初となる「無印良品」、新鮮野菜や海産物、加工品や手芸品など、多彩な商品を取り揃えています。また、なみえの技・なりわい館では、「磐城壽」の製造過程の見学や、日本酒をワンコインで飲み比べたりできるほか、大堀相馬焼の陶芸体験なども楽しめます。

最近では、全国初となるポケモンでいっぱい「ラッキー公園 in なみえまち」が開園し、子どもたちに大人気です。



東日本大震災・原子力災害伝承館

東日本大震災と原発事故という複合災害の記録と記憶を後世に伝えるとともに、復興に向けて力強く進む福島県の姿や国内外からの支援に対する感謝の思いを発信しつつ、福島にしかない原子力災害の経験と教訓を生かす防災・減災などをテーマとした施設の整備を進めています。

展示物と映像から当時の大規模災害の状況とその後の復興と廃炉の過程を学ぶことができるほか、東日本大震災や原子力災害で被災した施設や復興の状況を実際に間近で見ることによって、被災地を体感できます。当館では語り部の生の声を聞き、記録・経験・教訓を次の世代へと引き継ぐことを目指しています。



とみおかアーカイブ・ミュージアム

2021年7月11日（日）にオープンした町の成り立ちと複合災害がもたらした地域の変化を後世に伝える施設です。館内は、体験や情報発信を中心としたタウンギャラリー、地域の特徴や震災遺産と原発事故の経験・教訓を伝える常設・企画の二つの展示室、そして約5万点にのぼる収蔵資料のメンテナンス・整理保管を行う収蔵庫、と大きく三つのエリアに分かれています。

それぞれの土地で、ふるさとに心を寄せ続けてきた町民の生活・地域資料を保存し、突然奪われた「当たり前の日常」を展示することにより、町の歴史や人々の暮らしと併せて、自然災害や原発事故の経験を未来に継承する施設となっています。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

J-VILLAGE

サッカーのナショナルトレーニングセンターです。震災後、原発事故の対応拠点となり、一時休業していましたが、2019年4月より全面再開しました。観客席付スタジアムを含め天然ピッチ8面、人工芝ピッチ2面、雨天練習場、ホテル（総客室数200）、フィットネスジム、アリーナ、プールなどを備えており、サッカー以外の一般観光客の利用も可能です。2022年東京五輪の聖火リレーの出発地点となりました。



【客室数】 シングル90室・ツイン60室・フォース38室・その他12室（合計200室）

< 2日目 >

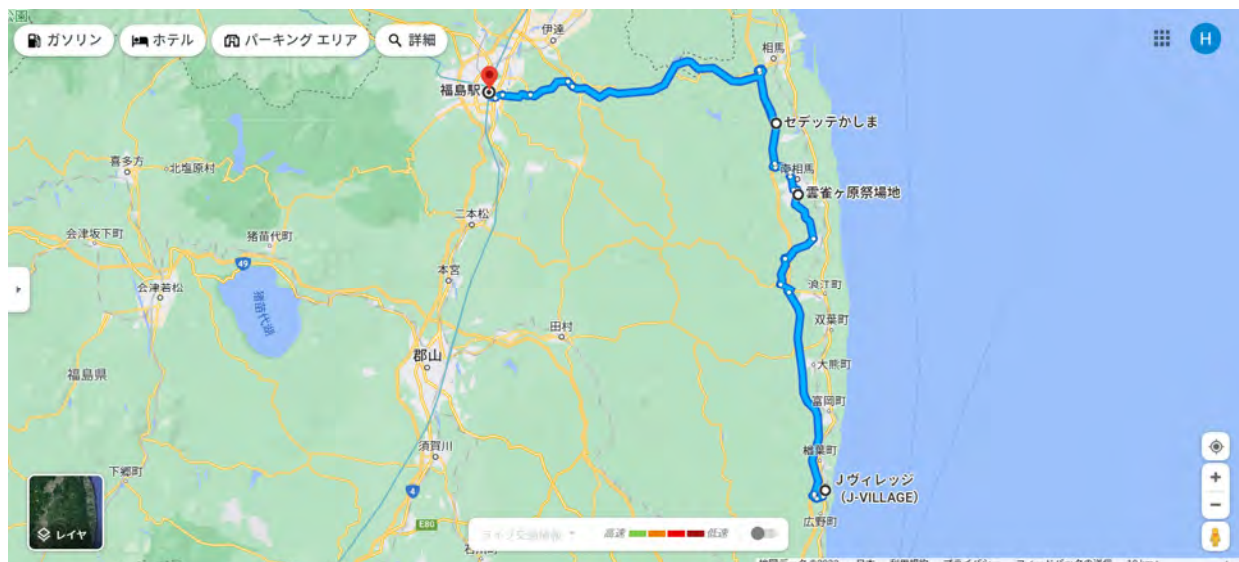


図 2日目の経路

J-VILLAGE 発

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

お行列

500余騎の騎馬武者達が3キロメートル先の御本陣である雲雀ヶ原祭場地を目指し進軍します。甲冑に身をかため、太刀を帯び、先祖伝来の旗指物を風になびかせながら威風堂々にして豪華絢爛な戦国絵巻を繰り広げます。まさに天下無比の圧巻であり、文化財的逸品がそろった「お行列」は動く文化財展として好事家に野馬追をもう一度見たいと言わせる所以です。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

しん き ひばり がはら
神 旗争奪戦観戦（雲雀ヶ原祭場地）

相馬野馬追は一千有余年の昔、相馬氏の祖といわれている平将門が下総国（千葉県北西部）に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりと伝えられています。現在では、毎年7月最終の土曜日・日曜日・月曜日、甲冑に身を固めた400余騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な時代絵巻を繰り広げています。



セ デッテ かしま
セッテかしま

「南相馬鹿島サービスエリア」に隣接する市の施設で、相馬地方の方言で「連れてって」を語源とする観光交流施設です。施設では、お食事のほか、地域の特産物の販売や様々な情報の発信を行っており、一般道からの利用も可能です。



福島駅 着
福島駅 着

モデルコース B 相馬野馬追（祭り以外の時期）と復興

① コースの特徴

コース紹介

浜通りの伝統文化・暮らしと今を知る旅

一千年以上の伝統を持つ相馬野馬追を鎧甲冑の見学や甲冑着付けの体験や馬と共生する市民の暮らしに触れることにより、その歴史と文化を探求します。また、山津見神社の復元された天井絵を鑑賞し、震災の記録を東日本大震災・原子力災害伝承館で振り返るとともに、名物なみえ焼そばや請戸漁港の再開によるしらす丼などを味わいます。

ターゲット

歴史好きな 20～30 代女性のグループ

② 行程

< 1 日目 >

10:00 ○ 福島駅

11:00 ○ 山津見神社
(30 分)

12:30 ○ 野馬追通銘醸館「食彩庵」
(60 分)

14:00 ○ 南相馬市博物館
(60 分)

15:30 ○ 野馬追通り銘醸館（甲冑着付け体験）
(60 分)

17:00 ○ 南相馬市内（宿泊）

< 2 日目 >

10:00 ○ 南相馬市内（発）

10:30 ○ 南相馬ふれあい牧場
(60 分)

[代替案] 震災遺構 請戸小学校

12:30 ○ 道の駅なみえ（ご昼食 買い物）
(60 分)

[代替案] 福島いこいの村なみえ

14:00 ○ 東日本大震災・原子力災害伝承館、
(120 分) 産業交流センター（買い物）

17:00 ○ 双葉駅（常磐線）

③ コースの立ち寄り箇所概要

< 1 日目 >

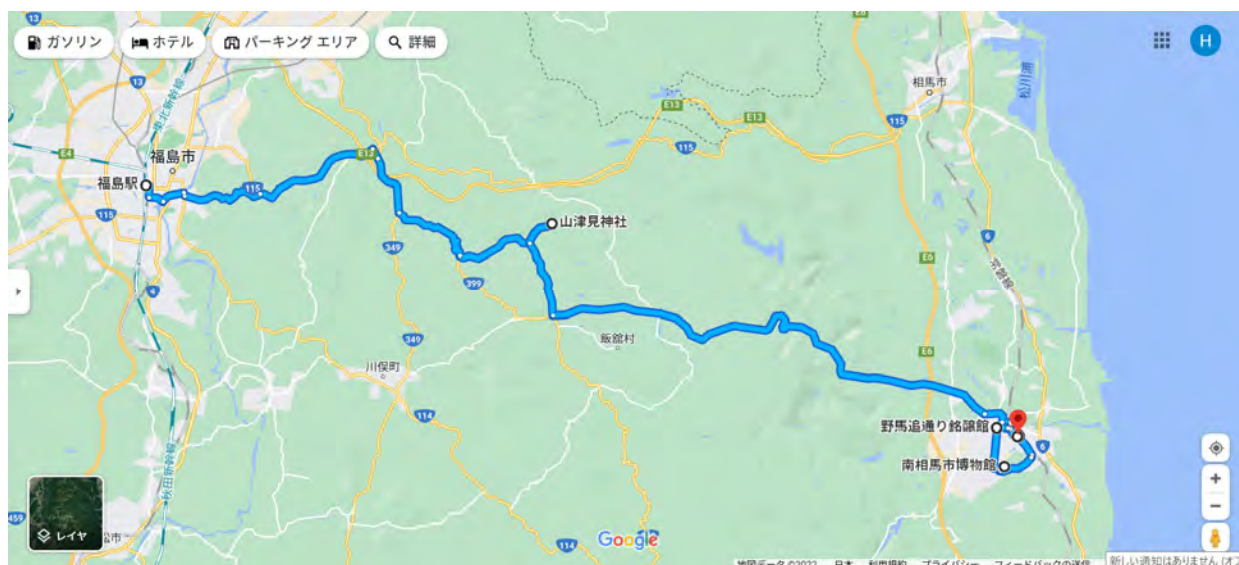


図 1 日目の経路

福島駅 発

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

山津見神社

全国的にも珍しいオオカミ信仰の神社で、200 枚を超えるオオカミが描かれた天井画で知られていましたが、原発事故により避難していた 2013 年 4 月の火災で消失してしまいました。しかし、写真をもとに、東京芸術大学の学生たちによって天井画が復元され、再建された拝殿に納められています。

見学のほか、事前予約することで権禰宜から説明いただくことも可能です。



野馬追通銘醸館「食彩庵」 ご昼食 (食彩庵のホームページは[こちら](#)です。)

大正 8 年に酒造業を営んでいた松本家の居宅として建てられた日本家屋を利用し「お食事処 食彩庵」としてランチ等の提供を行っております。毎週日曜日定休日。満席や貸し切りの場合がございますので、予約が確実です。

日替わりランチと（コーヒー付）1,100 円のほか、オプション品あり。ご予算に応じて承ります。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

野馬追通り 銘醸館

一千年以上の伝統を持つ「相馬野馬追」の里で鎧甲冑の展示を見学したり鎧甲冑着付け体験ができたりします。この地域ならではのおもてなしで戦国時代の気分を味わえます。鎧甲冑着付け体験の際、徒歩3分の三嶋神社で写真撮影すると盛り上がります。



南相馬市博物館 (個票はありません。ホームページが開きます。)

常設展 相馬野馬追では、勇壮な神旗争奪戦の様子をジオラマで再現しているほか、甲冑をはじめとする野馬追の祭具、江戸時代の野馬追が描かれた「相馬野馬追図屏風」などを展示し、武家の伝統を受け継ぐ相馬野馬追の歴史と変遷について紹介しています。野馬追を紹介するDVDが販売中です。

南相馬市内 泊

<2日目>

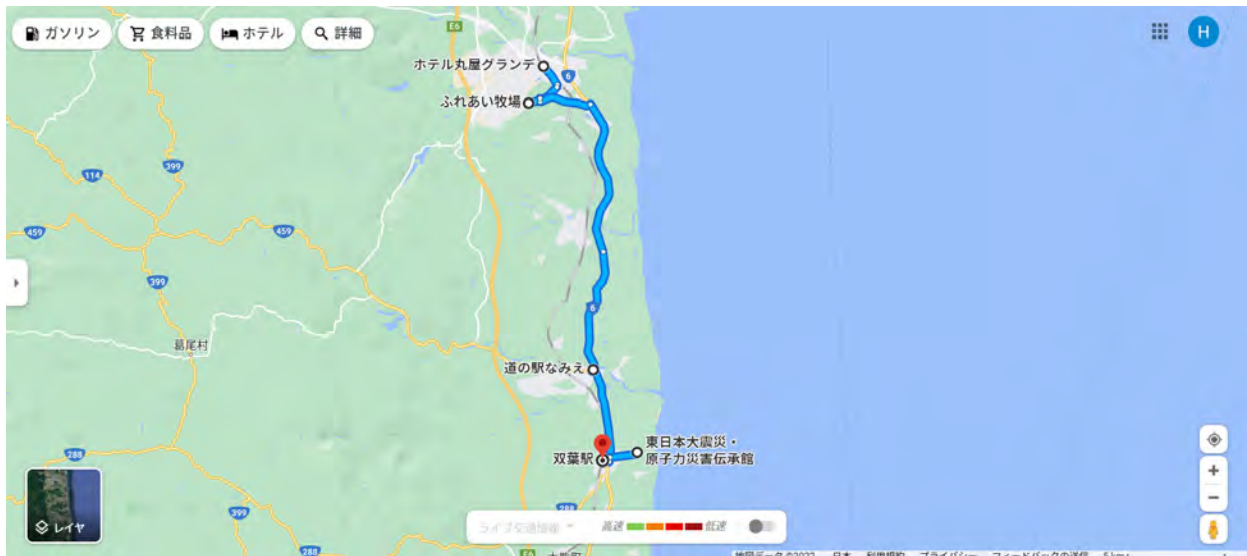


図 2日目の経路

南相馬市内 発

南相馬ふれあい牧場 (⇐ 個票はありません。クリックすると、ホームページが開きます。)

元競走馬など、引退した馬を飼育している施設です。南相馬市が育ててきた馬との暮らしの文化を知ることができます。

なお、市内では、野馬追に参加するため、現在でも約200頭の馬が市民の家で家族として暮らしています。

(要予約。1週間前までにホームページの連絡先にお問い合わせください。)



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

震災遺構 請戸小学校

2011年3月11日の東日本大震災の脅威や教訓とともに地域の記憶や記録を後世に伝え、防災意識の向上を図るため、被災した町立請戸小学校を震災遺構として一般公開しています。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

道の駅なみえ

浪江町の復興のシンボルとして、2021年3月20日にグランドオープンしました。本館のフードコートでは、魚介たっぷりの海鮮丼やご当地グルメ「なみえ焼そば」を堪能できるほか、道の駅への出店は全国初となる「無印良品」、新鮮野菜や海産物、加工品や手芸品など、多彩な商品を取り揃えています。また、なみえの技・なりわい館では、「磐城壽」の製造過程の見学や、日本酒をワンコインで飲み比べたりできるほか、大堀相馬焼の陶芸体験なども楽しめます。最近では、全国初となるポケモンでいっぱいの「ラッキー公園 in なみえまち」が開園し、子どもたちに大人気です。



福島いこいの村なみえ

震災後の8年目となる2018年6月に再開した公共の宿です。宿泊棟の一部が地震等の影響で減築となり、それに代わる宿泊棟として、町外での避難生活で活用していたログタイプの仮設住宅をコテージとして移築しました。このコテージは、廃棄物になる予定でしたが、木材の再利用が可能であったため、町からの強い要望により再利用が実現しました。震災前から、くつろぎ・集いの場として活用されてきた施設周辺は、緑に囲まれ、どこか懐かしく、温かさを感じられるふるさとの宿です。2021年に新管理棟が完成、レストランがオープンし、震災前に評判だった料理も提供できるようになりました。また、屋外でバーベキューをお楽しみいただくことも可能です。



東日本大震災・原子力災害伝承館

東日本大震災と原発事故という複合災害の記録と記憶を後世に伝えるとともに、復興に向けて力強く進む福島県の姿や国内外からの支援に対する感謝の思いを発信しつつ、福島にしかない原子力災害の経験と教訓を生かす防災・減災などをテーマとした施設の整備を進めています。

展示物と映像から当時の大規模災害の状況とその後の復興と廃炉の過程を学ぶことができるほか、東日本大震災や原子力災害で被災した施設や復興の状況を実際に間近で見ることによって、被災地を体感できます。当館では語り部の生の声を聞き、記録・経験・教訓を次の世代へと引き継ぐことを目指しています。



双葉駅 着

モデルコース C 郷土料理と新たな食

① コースの特徴

コース紹介	郷土料理を堪能し復興への思いを感じる旅 どぶろく・凍(し)み餅(もち)・軍鶏料理・いwana料理など郷土料理とホップジャパン、ワイナリーなど震災後に生まれた新たな食を味わうとともに、店主のお話、機織りやそば打ち体験など地元の人との交流により復興への思いを感じます。
ターゲット	土地の名物など食に興味のある 20～30 代女性グループ

② 行程

< 1 日目 > (2022年8月6日(土)出発イメージ)

<p>10:00 ○ 福島駅</p> <p>10:30 ○ 川俣シルクピア・からりこ館 (60分) 機織り体験 (買い物)</p> <p>11:30 ○ Shamoll 軍鶏料理 (ご昼食) (60分)</p> <p>13:00 ○ かわまたアンスリウム (60分)</p> <p>14:30 ○ 氣まぐれ茶屋ちえこ (90分) (どぶろく・凍(し)み餅(もち))</p> <p>17:30 ○ グリーンパーク都路 (ホップジャパン) (60分) (ビール) 灯まつり</p> <p>19:30 ○ J-VILLAGE (宿泊)</p>	<p>※問合先：川俣町ポリエステル媒地 活用推進組合</p> <p>[代替案] 山津見神社</p> <p>※灯まつり開催日：8月第1土曜日</p> <p>[代替案] 19:00 グリーンパーク都路(オートキャンプ)</p>
<p>< 2 日目 ></p>	
<p>9:30 ○ J-VILLAGE</p> <p>9:45 ○ 道の駅ならば (30分)</p> <p>10:30 ○ トロピカルフルーツミュージアム (30分)</p> <p>11:30 ○ いわなの郷 (そば打ち体験) (60分)</p> <p>12:30 ○ いわなの郷 (いwana料理：ご昼食) (60分)</p> <p>14:00 ○ かわうちワイナリー (30分)</p> <p>16:00 ○ 郡山駅</p>	<p>8:45 発 グリーンパーク都路</p> <p>[代替案] いwana釣り</p>

③ コースの訪問箇所の概要と魅力

< 1 日目 >

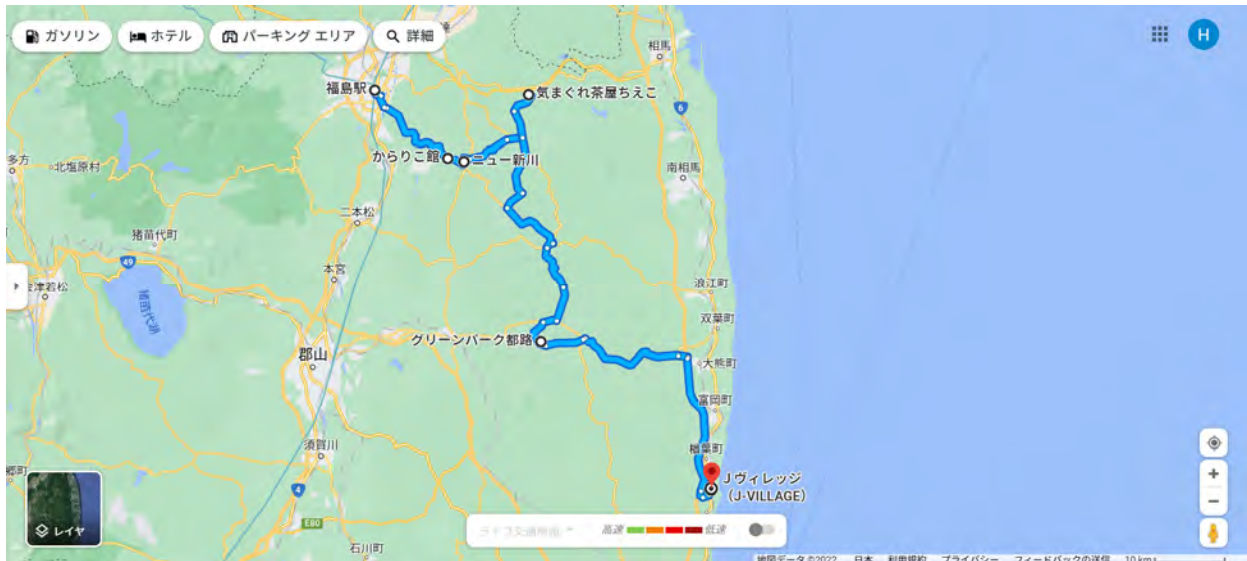


図 1 日目の経路

福島駅 発

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

川俣シルクピア・からりこ館

かわまた銘品館シルクピアは、1992年にオープン、川俣の絹織物、工芸品、牛乳・乳製品、ヘルシーな川俣シャモ等銘品の数々を紹介するとともに展示・販売をしています。この施設は、町のイベントや観光情報、道路情報を提供し、ドライバーの休憩場所として、また、人と人、人と地域の交流の拠点ともなっています。からりこ館では、川俣シルク織物体験をお楽しみいただけます。



かわまたシルク（川俣絹織物）の歴史は1400年前にもさかのぼると言われ、日本有数の絹織物の産地として知られる福島県の中でも、川俣町は古来から養蚕・機織業が非常に盛んな土地です。

川俣町内でシャモ料理のご昼食（道の駅かわまた内 Shamo11）

阿武隈山地の豊かな自然に恵まれた地で、のびのびと育ち、種鶏管理、孵化、育雛、肥育から出荷まで、川俣町内で徹底した管理された川俣シャモ料理をお召し上がりいただけます。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

かわまたアンスリウム

アンスリウムは、かわいらしいハート型でエナメルのようにつややかな質感の鮮やかな葉が特徴で、色の種類も豊富で、花持ちが良く、切り花や鉢植えとしても非常に人気があります。

ここ川俣町では、近畿大学の「川俣町復興支援プロジェクト」の一環としてはじまり、古着等をリサイクルしたポリエステル媒地で栽培しています。

現地では、施設担当者からの説明に加え、アンスリウムの購入も可能です。



氣まぐれ茶屋ちえこ

ちえこさんが経営する農家レストラン。ここで製造・販売される「どぶろく」は、福島県内の「どぶろく特区」第1号に認定されており、辛口ですっきりとした風味で人気があります。ちえこさんの「どぶろく」は、いいたて村の道の駅までい館でも購入可能です。外はかりっと中はふわふわの凍み(し)餅(もち)も人気です。



山津見神社

全国的にも珍しいオオカミ信仰の神社で、200枚を超えるオオカミが描かれた天井画で知られていましたが、原発事故により避難していた2013年4月の火災で消失してしまいました。しかし、写真をもとに、東京芸術大学の学生たちによって天井画が復元され、再建された拝殿に納められています。

見学のほか、事前予約することで権禰宣から説明いただくことも可能です。



グリーンパーク都路 (ホップジャパン)

ネパール等の高山地帯が原産の「赤そば」の栽培を2019年からグリーンパーク都路で開始しています。10月中旬から11月上旬にかけて、ネパールの原風景が感じられる赤色の花畑は一見の価値があります。収穫した赤そばは、スカイパレスときわでお召し上がりいただけます。

「ホップガーデンブルワリー」は、「グリーンパーク都路」を一部改修し、開設された。ホップの収穫から実際にビールを飲むところまで体験できる。ホップをふんだんに使用した高品質なビールを7種類製造しています。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

J-VILLAGE

サッカーのナショナルトレーニングセンターです。震災後、原発事故の対応拠点となり、一時休業していましたが、2019年4月より全面再開しました。観客席付スタジアムを含め天然ピッチ8面、人工芝ピッチ2面、雨天練習場、ホテル（総客室数200）、フィットネスジム、アリーナ、プールなどを備えており、サッカー以外の一般観光客の利用も可能です。2022年東京五輪の聖火リレーの出発地点となりました。



【客室数】 シングル90室・ツイン60室・フォース38室・その他12室（合計200室）

< 2日目 >

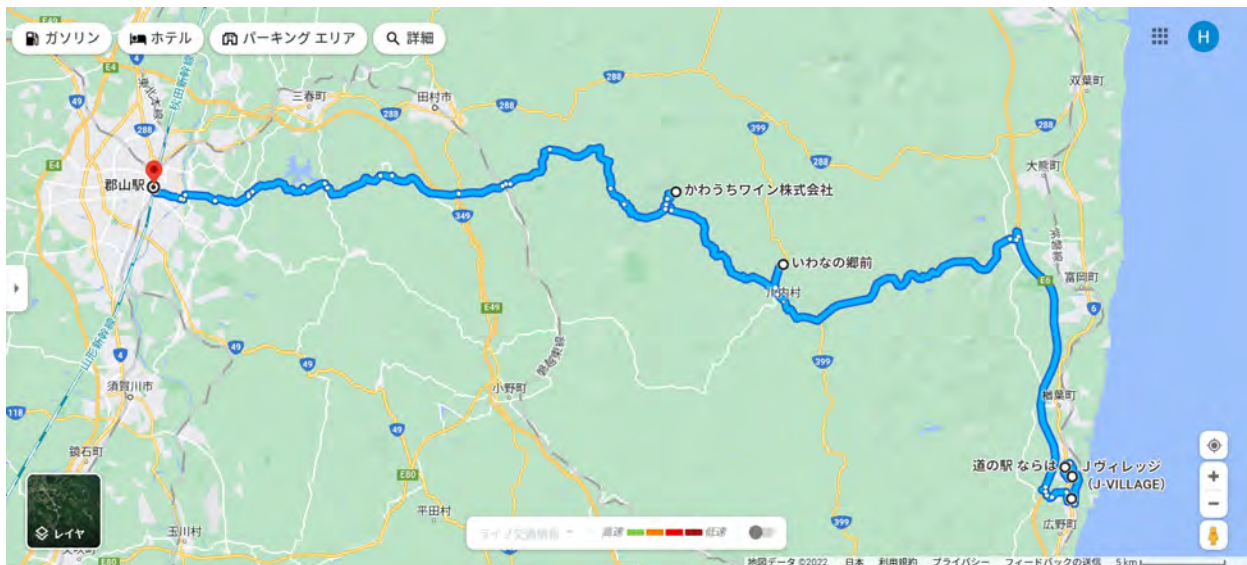


図 2日目の経路

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

J-VILLAGE 発

道の駅ならば

「道の駅ならば」の温泉施設の1階は、フードコート、キッズコーナー等があり、2階には疲れを癒す日帰り温泉があります。県内の様々なお土産や地域特産品を約2000種類取りそろえている物産館が併設されているほか、フードコートでは、特産料理「マミーすいとん」を食べることができます。

震災後、物産館は一時、双葉警察署の臨時庁舎となっていました。外壁にひびが入るなど被害も大きかったため、町が復旧を進めていました。道の駅ならばの温泉施設は2019年4月に再開し、2020年6月に物産館が再開しました。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

トロピカルフルーツミュージアム

バナナの主な産地はフィリピンやインドネシア、台湾など温暖な気候の地域です。日本でも栽培されているものの、ごく限られた地域のみで、東北地方・福島では栽培されておりませんでした。

栽培している「綺麗」と名付けられるその品種はコンピューター制御によって管理され、皮まで食べられます。

2018年9月に町と住民の希望となる150株の苗が植えられました。町の夢と希望を託されたバナナの苗はぐんぐんと成長し3メートルを超えるほどになりました。そして2019年8月、関係者の苦労と努力が実を結び、初めての収穫を迎えることができました。



いわなの郷

定食や塩焼きなど四季折々のメニューを提供するレストランや岩魚釣りが実体験できる釣り堀、体験交流館、コテージ（宿泊施設）、幻魚亭（お食事処）があります。体験交流館では、川内村に伝わる昔ながらの味噌づくりや、そば打ちなども体験できます。

かわうちワイナリー

阿武隈高地のほぼ中央、標高約750mと大自然の中に囲まれた広大な草地の一部（現在は約3ヘクタール）の圃場に醸造用のワインぶどう栽培を行っています。川内村を応援するボランティアや地域住民と協力し、メルロー、シャルドネ、それにカベルネ・ソーヴィニヨンの苗木を2016年から植え付け、今では約11,000本に達しています。ワイン事業を通じて地域の”新たな食文化の探求”と”魅力創造”を目的に様々なイベントや農業体験・学びの場を提供しています。

郡山駅 着

○ご参考○

<https://www.youtube.com/watch?v=ipq9a5TDE8Y>

※ ↑ こちらのYouTubeサイトでは、「福島浜通りエリアの地酒とご当地グルメを堪能し、福島の復興を応援する旅」を紹介しております。
(アドレスをクリックすると、you tube のページが開きます。)

モデルコース D 知られざる福島、浜通り探訪

① コースの特徴

コース紹介	知られざる福島へ、浜通りの旅 浪江町フィールドワーク、東京電力廃炉資料館により、震災の記録を振り返ります。かわまたアンスリウムの生産と ^{ならば} 檜葉遠隔技術開発センターを見学することにより、新たな技術による復興の確かな歩みを体感します。
ターゲット	知的好奇心のある 40～60 代グループ

② 行程

< 1 日目 >

10:00	○ 福島駅	
11:00	○ かわまたアンスリウム	問合先：川俣町ポリエステル媒地活用推進組合
(30分)		
12:00	○ Shamoll (道の駅かわまた内)	^{しやも} 軍鶏料理 (ご昼食)
(60分)		
14:30	○ 浪江町震災学習体験フィールドワーク	
(90分)	○ ^{うげど} 請戸小学校- ^{おおひらやま} 大平山霊園	
16:00	○ 道の駅なみえ (休憩、買い物)	
(30分)		
17:00	○ 檜葉町または周辺 (泊)	

< 2 日目 >

10:00	○ 檜葉町または周辺 (発)	
10:15	○ ^{ならば} 檜葉遠隔技術開発センター (VR 体験)	
(60分)		
11:30	○ 道の駅ならば (ご昼食、買い物)	
(60分)		
13:30	○ 東京電力廃炉資料館	[代替案] 中間貯蔵施設 問合先：中間貯蔵工事情報センター TEL：(0240)25-8377
(60分)		
15:00	○ とみおかワインドメニュー	[代替案]NPO 法人 富岡町 3.11 を語る会
(60分)		
17:00	○ 富岡駅	

③ コースの立ち寄り箇所概要

< 1 日目 >

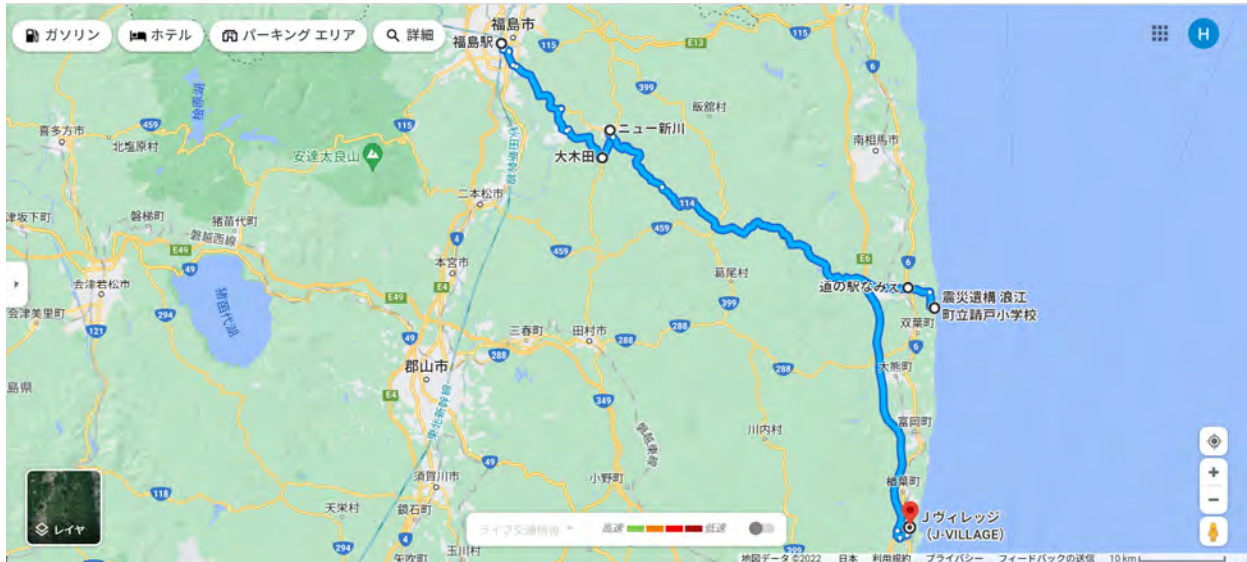


図 1 日目の経路

福島駅 発

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

かわまたアンズリウム

アンズリウムは、かわいらしいハート型でエナメルのようにつややかな質感の鮮やかな葉が特徴で、色の種類も豊富で、花持ちが良く、切り花や鉢植えとしても非常に人気があります。

ここ川俣町では、近畿大学の「川俣町復興支援プロジェクト」の一環としてはじまり、古着等をリサイクルしたポリエステル媒地で栽培しています。

現地では、施設担当者からの説明に加え、アンズリウムの購入も可能です。



川俣町内でシャモ料理のご昼食（道の駅かわまた内 Shamoll）

阿武隈山地の豊かな自然に恵まれた地で、のびのびと育ち、種鶏管理、孵化、育雛、肥育から出荷まで、川俣町内で徹底した管理された川俣シャモ料理をお召し上がりいただきます。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

浪江町震災学習体験フィールドワーク

東日本大震災慰霊碑が建立されている大平山霊園、今なお被災当時の様子がほぼそのまま残っている請戸小学校を歩き、見て聞いて考えるフィールドワークです。

ありのままの姿と復興に挑戦し続ける人々との対話を通して、未来にどう活かすかを考えるきっかけとなることを願っています。



道の駅なみえ

浪江町の復興のシンボルとして、2021年3月20日にグランドオープンしました。本館のフードコートでは、魚介たっぷりの海鮮丼やご当地グルメ「なみえ焼そば」を堪能できるほか、道の駅への出店は全国初となる「無印良品」、新鮮野菜や海産物、加工品や手芸品など、多彩な商品を取り揃えています。また、なみえの技・なりわい館では、「磐城壽」の製造過程の見学や、日本酒をワンコインで飲み比べたりできるほか、大堀相馬焼の陶芸体験なども楽しめます。最近では、全国初となるポケモンでいっぱいの「ラッキー公園 in なみえまち」が開園し、子どもたちに大人気です。



檜葉町または周辺 泊

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

< 2 日目 >

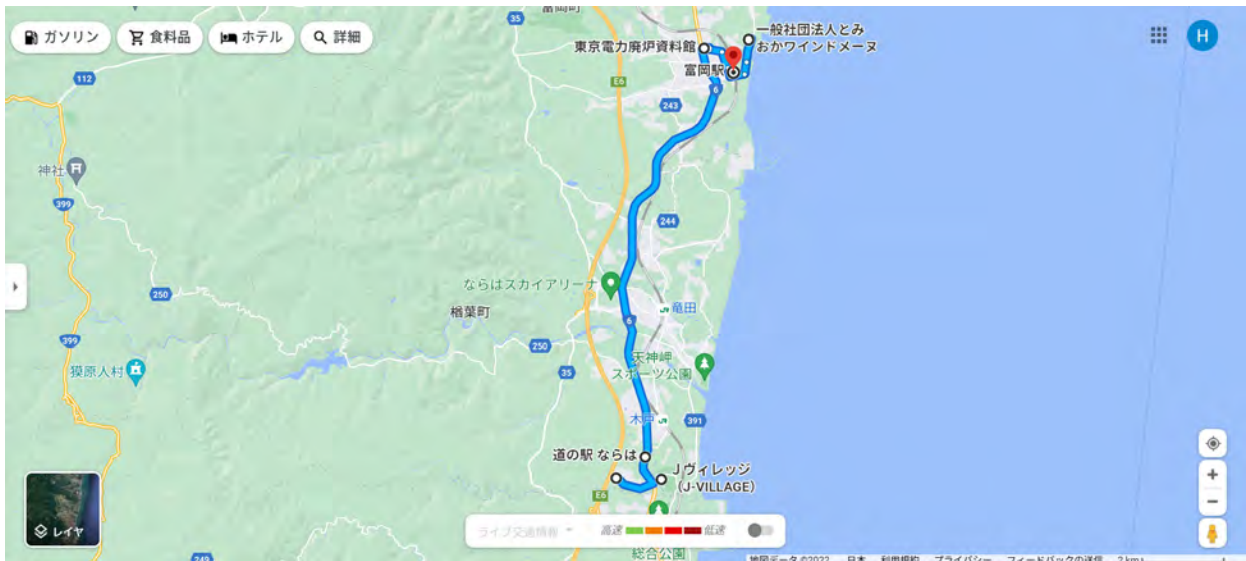


図 2 日目の経路

楡葉町または周辺 発

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

ならは 遠隔技術開発センター

東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所の廃炉推進のために遠隔操作機器（ロボット等）の開発実証施設として整備され、2016年4月より外部利用を開始しました。活用可能なバーチャルリアリティシステム、ロボットシミュレータ、音響映像設備を備える多目的室等がある。ロボットの遠隔技術や原子炉建屋内の一部を再現したVRを体験し、最先端の廃炉技術を見学することができます。（2週間前までに要予約）

道の駅ならは

「道の駅ならは」の温泉施設の1階は、フードコート、キッズコーナー等があり、2階には疲れを癒す日帰り温泉があります。県内の様々なお土産や地域特産品を約2000種類取りそろえている物産館が併設されているほか、フードコートでは、特産料理「マミーすいとん」を食べることができます。

震災後、物産館は一時、双葉署の臨時庁舎となっていました。外壁にひびが入るなど被害も大きかったため、町が復旧を進めていました。道の駅ならはの温泉施設は2019年4月に再開し、2020年6月に物産館が再開しました。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

東京電力廃炉資料館

長期にわたる膨大な廃炉事業の全容を見える化し、その進捗をわかりやすく発信することは、国内外の英知の結集と努力を継続させていくうえでも大切です。関係施設及び周辺地域などと連携を取りながら、原子力事故を後世にお伝えしていくと共に、復興に向けた皆様の安心につながるよう努めていきます。



中間貯蔵施設 (← 個票はありません。クリックすると、ホームページが開きます。)

中間貯蔵施設は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により汚染された土壌等の除染で出た土などを県外最終処分するまでの間、安全かつ集中的に管理・保管するための施設です。東京電力福島第一原子力発電所の周囲を囲む場所において整備されており、大熊町・双葉町には大変重たいご決断の下で受入れを容認いただきました。

約 1,600ha (東京都渋谷区とほぼ同じ面積) の広大な敷地に土などが運び込まれ、処理される様子を御覧いただけます。

この施設で保管している土などは中間貯蔵開始から 30 年以内に福島県外で最終処分することが定められています。環境省ではこれらの土の県外最終処分に向けて、再生利用の実証事業などを行うとともに、理解醸成への取組を進めています。(要事前予約)



とみおかワイナブドウ栽培クラブ (とみおかワインドメニュー)

2016 年 4 月からワインづくりをスタートしました。この地でのワインに対する思いは、ゼロからの地域づくりの一環であり、次の時代への贈り物でもあります。富岡町内の小浜地区と下千里地区の 2 か所に、醸造用ブドウの試験圃場を 5a ずつ設置し、3 月～4 月に、各地区 200 本ずつ、計約 400 本を垣根仕立てで植え付け。その後、小浜地区では、平成 29 年春に約 200 本 (10a)、平成 30 年春に 300 本 (15a) を追加で植付けし、現在、2 地区合せて 35a に約 900 本のブドウを栽培しています。

NPO 法人 富岡町 3.11 を語る会

震災からの避難体験を町民自らの言葉で語り、復興が始まったばかりの福島と富岡町を語り伝えています。出張対応可能。さくらモールとみおか内に事務所があります。

富岡駅 着

モデルコース E 夏休み親子教室

① コースの特徴

コース紹介	浜通り再発見！夏休み親子教室 福島いこいの村なみえの宿泊体験と浪江町フィールドワークの学習体験により、震災を学びます。檜葉遠隔技術開発センターを見学することにより、復興の新たな技術を学びます。がらがらどんでは自然の中でヤギと触れ合い、入水鍾乳洞では自然の探検を楽しみます。
ターゲット	幼稚園・小・中学校の子供を持つ親子連れ

② 行程

< 1 日目 >

- 10:00 ○ 郡山駅
- 11:00 ○ 入水鍾乳洞
(60分)
- 13:00 ○ いわなの郷 (ご昼食 いわな釣り)
(90分)
- 15:00 ○ かつらおヤギ広場がらがらどん
(60分)
- 17:00 ○ 福島いこいの村なみえ

[代替案] ムシムシランド
期間 7月下旬～8月下旬
4月、9月にイベントあり

(↑個票はありません。クリックすると、
ホームページに飛びます。)

< 2 日目 >

- 10:00 ○ 福島いこいの村なみえ
- 10:30 ○ 浪江町震災学習体験フィールドワーク
(90分) 請戸小学校- 大平山霊園
- 12:00 ○ 道の駅なみえ (ご昼食、買い物)
(60分)
- 13:30 ○ 檜葉遠隔技術開発センター (VR 体験)
(60分)
- 15:00 ○ 広野駅 (常磐線)

③ コースの立ち寄り箇所概要

< 1 日目 >

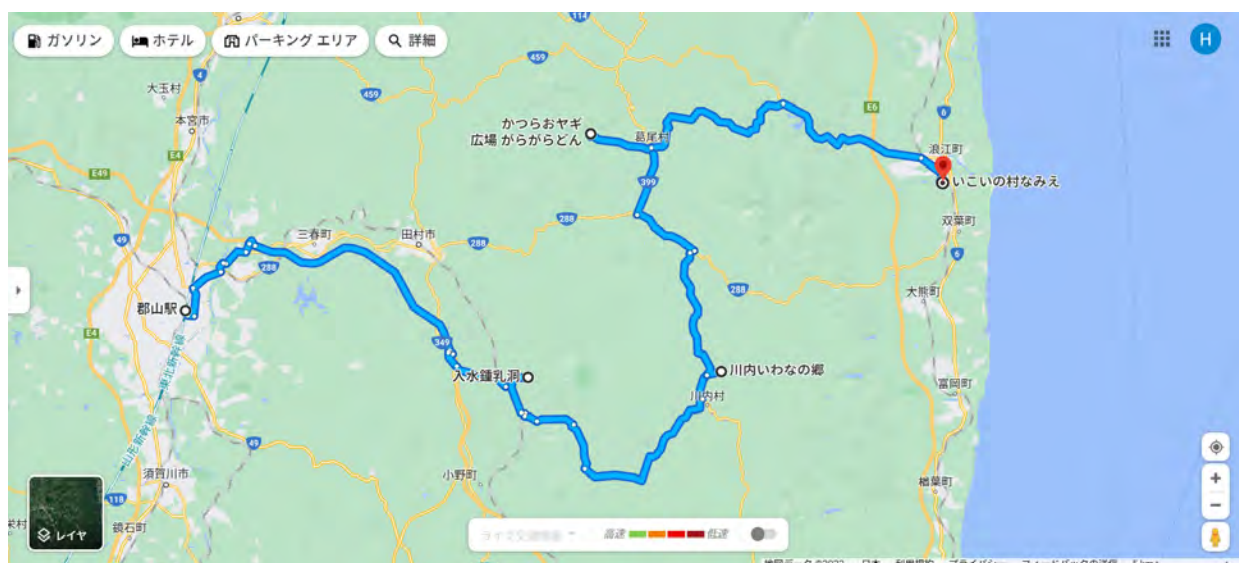


図 1 日目の経路

郡山駅

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

入水鍾乳洞・あぶくま洞

悠久の歳月をかけて創られた大自然の造形美。全長 600m の洞内に、種類と数の多さでは東洋一ともいわれる鍾乳石が続くあぶくま洞。したたり落ちる地下水が自らの溶食作用によって創りあげる様々な造形美にはそれぞれに名前が付けられ、訪れる人を魅了してきました。洞内最大のホール「滝根御殿」、日本の鍾乳洞で初めて舞台演出用の調光システムが導入された「月の世界」など多くの見どころがあります。また、恋人の聖地に認定されています。



いわたの郷

定食や塩焼きなど四季折々のメニューを提供するレストラン**げんぎょてい** 幻魚亭や岩魚釣りが実体験できる釣り堀、体験交流館、コテージ（宿泊施設）があります。体験交流館では、川内村に伝わる昔ながらの味噌づくりや、そば打ちなども体験できます。

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

かつらおやぎ広場がらがらどん

現地でしか食べられない山羊ミルクを使用した料理を提供するカフェや山羊やポニーと触れ合える「ふれあい広場」の建設を予定。15年前から手作り化粧石鹸「山羊ミルク石鹸」を販売しています。葛尾村民や福島県の協力もあり、2021年5月に観光牧場としてオープン。2022年5月には広場をオープンしました。（現在のヤギの頭数はおよそ80頭）

福島いこいの村なみえ

震災後の8年目となる2018年6月に再開した公共の宿です。宿泊棟の一部が地震等の影響で減築となり、それに代わる宿泊棟として、町外での避難生活で活用していたログタイプの仮設住宅をコテージとして移築しました。このコテージは、廃棄物になる予定でしたが、木材の再利用が可能であったため、町からの強い要望により再利用が実現しました。震災前から、くつろぎ・集いの場として活用されてきた施設周辺は、緑に囲まれ、どこか懐かしく、温かさを感じられるふるさとの宿です。2021年に新管理棟が完成、レストランがオープンし、震災前に評判だった料理も提供できるようになりました。また、屋外でバーベキューをお楽しみいただくことも可能です。



【客室数】 和室12帖4名部屋6室 和洋室20帖5名部屋2室
コテージ 12帖1名部屋3室(うち1室特別室) 18帖3名部屋14室
24帖5名部屋3室

< 2日目 >

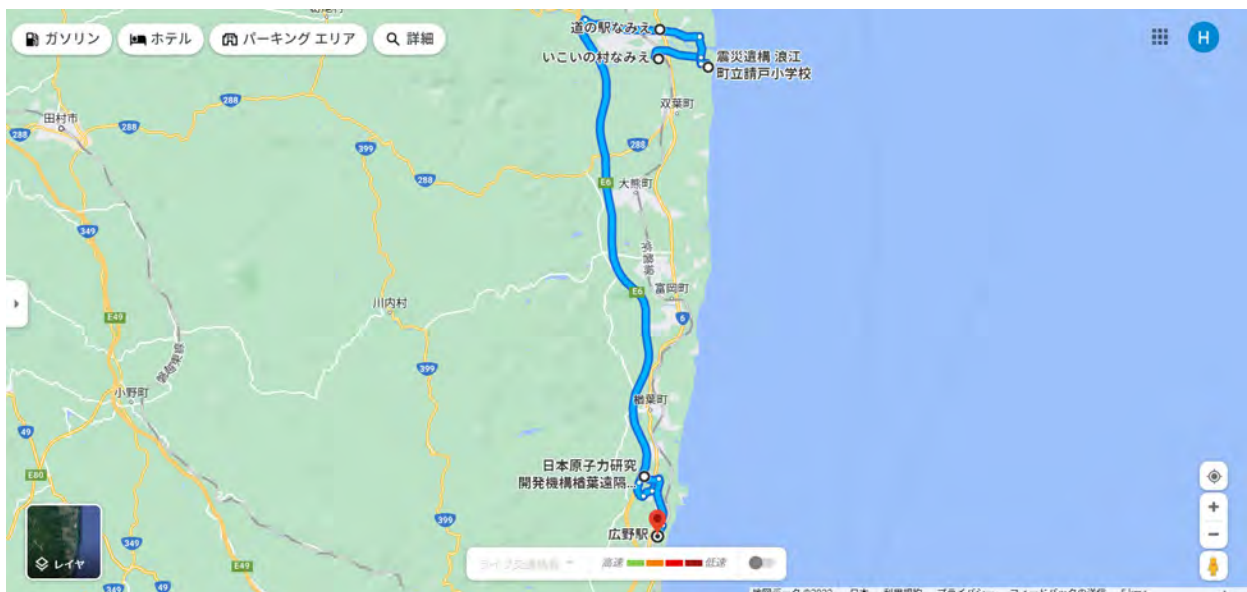


図 2日目の経路

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

福島いこいの村なみえ 発

浪江町震災学習体験フィールドワーク

東日本大震災慰霊碑が建立されている大平山^{おおひらやま}霊園、今なお被災当時の様子がほぼそのまま残っている請戸^{うけど}小学校を歩き、見て聞いて考えるフィールドワークです。

ありのままの姿と復興に挑戦し続ける人々との対話を通して、未来にどう活かすかを考えるきっかけとなることを願っています。



道の駅なみえ

浪江町の復興のシンボルとして、2021年3月20日にグランドオープンしました。本館のフードコートでは、魚介たっぷりの海鮮丼やご当地グルメ「なみえ焼そば」を堪能できるほか、道の駅への出店は全国初となる「無印良品」、新鮮野菜や海産物、加工品や手芸品など、多彩な商品を取り揃えています。また、なみえの技・なりわい館では、「磐城壽」の製造過程の見学や、日本酒をワンコインで飲み比べたりできるほか、大堀相馬焼の陶芸体験なども楽しめます。最近では、全国初となるポケモンでいっぱい「ラッキー公園 in なみえまち」が開園し、子どもたちに大人気です。



なみえ 櫛葉遠隔技術開発センター

東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所の廃炉推進のために遠隔操作機器（ロボット等）の開発実証施設として整備され、2016年4月より外部利用を開始しています。（平日のみ）

研究管理棟と試験棟で構成され、研究管理棟は、廃炉作業の作業計画検討や作業者訓練等に活用可能なバーチャルリアリティシステム、ロボットシミュレータ、音響映像設備を備える多目的室等があります。ロボットの遠隔技術や原子炉建屋内の一部を再現したVRを体験し、最先端の廃炉技術を見学することができます。（訪問の2週間前までに要予約）

広野町駅 着

モデルコースF マラソン大会

① 特徴

コース紹介

浜通りを再発見！浜通りを走る！

川内の郷かえるマラソンでは、マラソンを楽しみます。天神岬温泉と道の駅ならではの温泉で疲れた身体を癒します。

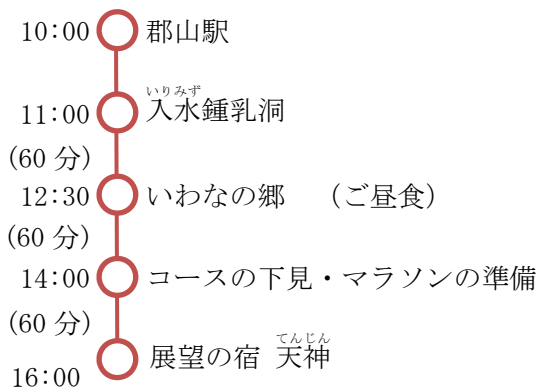
入水鍾乳洞では自然の探検を楽しみます。

ターゲット

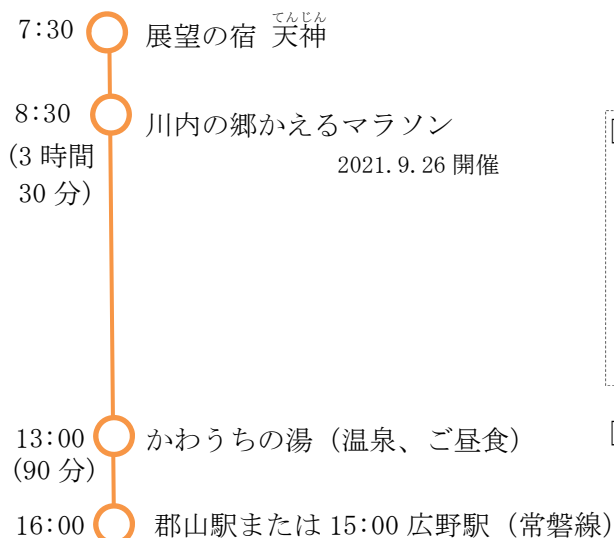
マラソンを趣味とするアクティブな夫婦

② 行程

< 1日目 > 土曜日



< 2日目 > 日曜日



マラソン・ロードレースは、行をクリックすると、
⇨ 該当ホームページに飛びます。

[代替案]

- ・田村富士ロードレース大会 2021. 10. 17 開催
- ・J ヴィレッジハーフマラソン 2021. 12. 12 開催
- ・とみおかふっこうロードレース大会 2021年は中止
- ・野馬追の里健康マラソン大会 2021. 12. 5 開催
- ・川俣ロードレース大会 2021. 6. 20 開催
- ・木戸ダムでのサップやカヤック体験等 (檜葉町計画中)

[代替案]道の駅ならば(温泉、ご昼食、買い物)

③ コースの立ち寄り箇所概要

< 1 日目 >

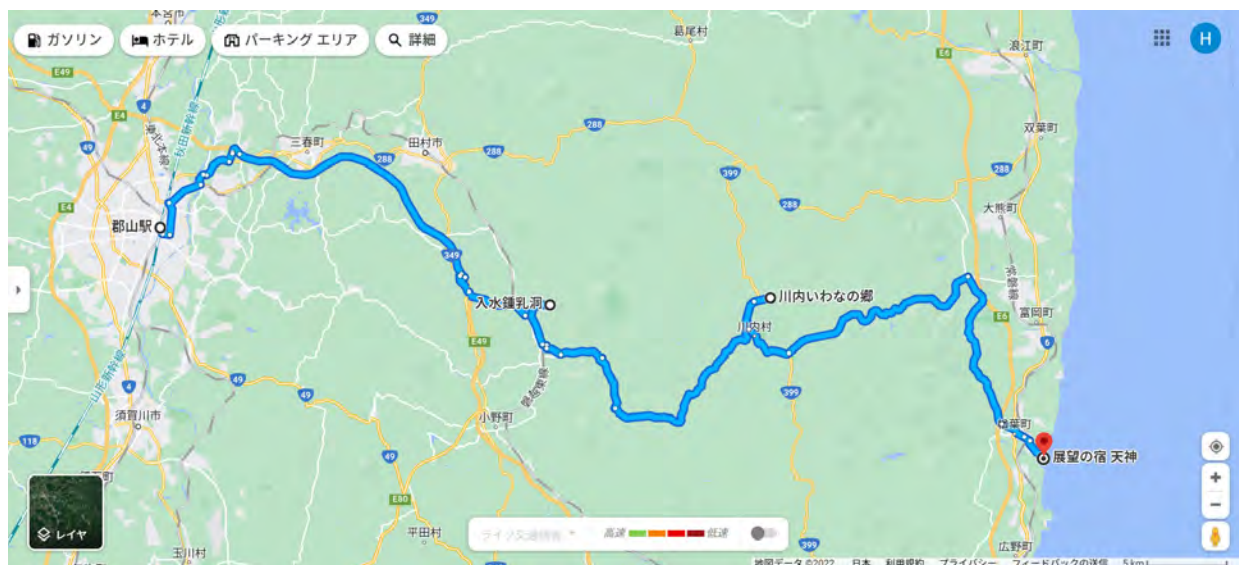


図 1 日目の経路

郡山駅 発

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

入水鍾乳洞

悠国の天然記念物に指定されている入水鍾乳洞は、本格的なケイピングの醍醐味が味わえる鍾乳洞です。全長 900m の狭い洞内は、入口から最奥部まで A、B、C の 3 コースに分かれています。

B コースから奥はほとんど手が加えられていないため、10 度の冷たい水に膝まで浸かり、懐中電灯やろうそくのみを頼りに、鍾乳洞の隙間をくぐったり、よつんばいになりながら進みます。(C コースは案内人が必要です。券売所でろうそく、合羽、サンダルなどがレンタルできます。)

B コース以降に入る場合は衣服の着替えが必要です。

C コース完全予約制：5 名様まで 6,000 円

C コースご入洞のお客様にはヘルメット・膝肘パットを無料で貸し出します。

※C コースは案内人なしでは入洞できません。

いわなの郷

定食や塩焼きなど四季折々のメニューを提供するレストラン^{げんぎよてい} 幻魚亭や岩魚釣りが実体験できる釣り堀、体験交流館、コテージ(宿泊施設)、レストラン^{げんぎよてい} 幻魚亭があります。体験交流館では、川内村に伝わる昔ながらの味噌づくりや、そば打ちなども体験できます。

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

展望の宿 天神

天神岬スポーツ公園内の施設で檜葉町サイクリングターミナルに隣接している。太平洋を眺めながらの温泉浴は、心もからだもリフレッシュできます。

黄金色のしっとりとした塩化物泉は源泉 100%、旅の疲れを癒してくれ、また皮膚病、神経痛に特に適応すると大好評。スポーツで汗をながした後などにも、気軽に利用できます。

【客室数】 ツイン11室・和室8室（合計19室）、コテージ2棟(4～8名/1棟)、ロッジ1棟(10～26名)



< 2 日目 >

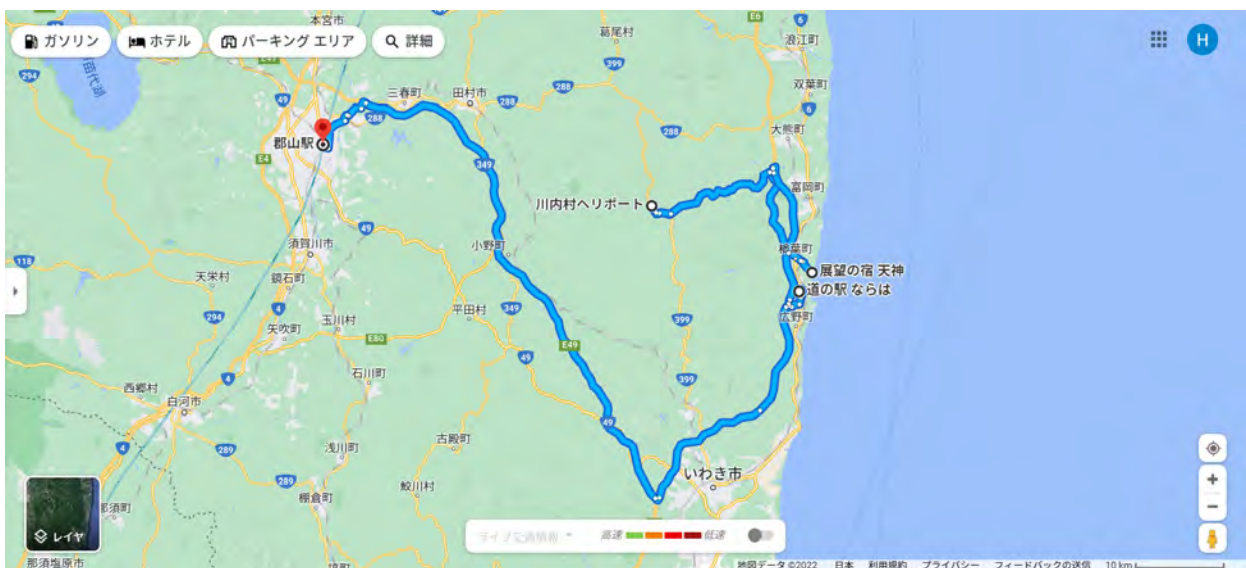


図 2 日目の経路

展望の宿 天神 発

※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

道の駅ならは

「道の駅ならは」の温泉施設の1階は、フードコート、キッズコーナー等があり、2階には疲れを癒す日帰り温泉があります。県内の様々なお土産や地域特産品を約2000種類取りそろえている物産館が併設されているほか、フードコートでは、特産料理「マミーすいとん」を食べることができます。

震災後、物産館は一時、双葉警察署の臨時庁舎となっていました。外壁にひびが入るなど被害も大きかったため、町が復旧を進めていました。道の駅ならはの温泉施設は2019年4月に再開し、2020年6月に物産館が再開しました。



※ アイコンをクリックすると、個票に飛びます。

かわうちの湯（いわなの郷内）

八角形をした斬新なデザインの温泉棟で、第一浴室と第二浴室に分かれており、日替わりで男湯・女湯に代わります。アルカリ度が高く、肌がツルツルになることから『美人の湯』とも言われています。施設内の温泉種類も多く、泡風呂・ジェットバス・岩塩サウナ・寝湯などが設置された、くつろげる温泉施設です。

郡山駅 着

本資料の作成担当について

【P. 1 ～ P. 55 の個票】

株式会社百戦錬磨（復興庁調査業務受託事業者）
東京都千代田区外神田 2-18-20
TEL：03-6206-9176（大野）

【P. 56 ～ P. 84 のモデルコース】

株式会社ケー・シー・エス（復興庁調査業務受託事業者）
東京都文京区小石川 1-1-17
TEL：03-6240-0597（森田・石井・牧野）

【資料全般】

復興庁 原子力災害復興班（企画調整担当）
東京都千代田区霞が関 3-1-1
TEL：03-6328-0242（田邊 塩田）